佛教大学
BUKKYO UNIVERSITY

総合案内 2025

CONTENTS

沿革 …… 2
建学の理念ならびに使命と目的 …… 4
教育研究上の目的 …… 5
教育方針（三つのポリシー） …… 6
学部／学科 …… 7
大学院 …… 18
通信教育課程／別科 …… 20
附属施設・附置機関 …… 21
教育機構 …… 22
事務機構 …… 23
役職者／教員・職員数 …… 24
入試・入学状況 …… 25
在籍学生数 …… 28
卒業者・学位授与者・修了者数 …… 32
進路・就職 …… 33
教員免許状・資格取得者数／実習実施者数 …… 35
国家試験合格率 …… 36
宗教情操行事 …… 37
国際交流 …… 38
社会連携 …… 40
課外活動 …… 42
奨学金 …… 43
学費 …… 45
財務状況 …… 47
図書館／法然仏教学研究センター …… 49
宗教文化ミュージアム …… 50
外部資金／土地・建物面積 …… 51
同窓会／教育後援会 …… 52
キャンパス・附置機関マップ …… 53

学　章

本学が建学の理念の拠り所としている浄土宗をひらかれた法然上人の生家の家紋であった杏葉に大学の文字を配したものです。
仏教の精神、浄土宗創建の理念に基づき、世界の福祉と文化の向上に貢献する人材の養成を旗印としています。

ロゴマーク

佛教大学の「佛」という漢字と、アルファベットの「B」がモチーフ。人と人が、手を差し伸べ互いを支え合い、つながる様子をイメージしています。ボールドのゴシック体をベースにして、堂々と力強く成長していく姿を表現しています。

マスコットキャラクター

開学100周年記念事業の一環として、有志の学生グループが中心となり制作に取り組みました。学生たちの熱心な活動が実を結び、2010年10月23日の創立記念日に公式マスコットキャラクターとして発表されました。また、ネーミングは1,400件を越える応募の中から「ぶったん」と決定しました。

学　歌

作詞：小西存祐　作曲：吉田恒三　（1936年４月制定）

一、
高輝る千古の都
若草の萌出るところ
ここ鷹陵の吾等が学舎
ここ鷹陵の吾等が学舎
ここ鷹陵の吾等が学舎

二、
礙られぬ光こめたり
黒谷の春のあけぼの
誰ぞ開く報恩蔵
誰ぞ開く報恩蔵
誰ぞ開く報恩蔵

三、
仰ぎ見よ華頂の峰
その高き教ぞ栄ゆる
還愚痴の聖在ませり
還愚痴の聖在ませり
還愚痴の聖在ませり

四、
世はあげて五濁に悩む
いざ起ちて仏土浄めん
選択の御旗かざして
選択の御旗かざして
選択の御旗かざして

紫野キャンパス

学　部

仏教学部
仏教学科

文学部
日本文学科 / 中国学科 / 英米学科

歴史学部
歴史学科
歴史文化学科

教育学部
教育学科 / 幼児教育学科
臨床心理学科

社会学部
現代社会学科
公共政策学科

社会福祉学部
社会福祉学科

保健医療技術学部
理学療法学科 / 作業療法学科
看護学科

大学院

文学研究科
仏教学専攻　（修士・博士後期）
文学専攻　（修士・博士後期）
歴史学専攻　（修士・博士後期）

教育学研究科
生涯教育専攻　（修士・博士後期）
臨床心理学専攻　（修士・博士後期）

社会学研究科
社会学専攻　（修士・博士後期）

社会福祉学研究科
社会福祉学専攻　（修士・博士後期）

別　科

別科（仏教専修）

通信教育課程

学部（本科）
■仏教学部　●仏教学科　浄土・仏教コース／仏教文化コース
■文学部　●日本文学科　●中国学科　●英米学科
■歴史学部　●歴史学科　日本史コース／東洋史コース
西洋史コース
●歴史文化学科　考古学・地理学コース
民俗学・文化人類学コース
芸術文化コース／京都学コース
■教育学部　●教育学科　●幼児教育学科
■社会学部　●現代社会学科　●公共政策学科
■社会福祉学部　●社会福祉学科

大学院
■文学研究科　仏教学専攻（修士・博士後期）／文学専攻（修士）
歴史学専攻（修士・博士後期）
■教育学研究科　生涯教育専攻（修士）／臨床心理学専攻（修士）
■社会学研究科　社会学専攻（修士）
■社会福祉学研究科　社会福祉学専攻（修士）

その他の課程
■課程本科　教員免許状取得課程・資格取得課程
■科目履修コース　教員免許状課程・資格課程・教養課程
特例制度による幼稚園教諭免許状
保育士資格課程
■本科入学資格コース
■免許法認定通信教育

附属施設・附置機関

附属図書館（浄土宗文献室を含む）　高大連携センター　宗教教育センター（宗門後継者養成道場を含む）　健康管理センター
学生相談センター　学生支援センター　教職支援センター　専門職キャリアサポートセンター　国際交流センター
法然仏教学研究センター　総合研究所　臨床心理学研究センター　宗教文化ミュージアム　社会連携センター
オープンラーニングセンター　人権教育センター　附属こども園

関連施設

（福）和順共生会 特別養護老人ホーム「和順の里」

沿革

1868(明治 元)年		・知恩院山内の源光院に仏教講究の機関を設置
1870(明治 3)年	1月	・知恩院山内の源光院に仮勧学場を開設
1898(明治 31)年	8月	・浄土宗制の変更により、浄土宗学本校の高等専門科を浄土宗専門学院へ改称、仮校舎を大本山百万遍知恩寺に設置
1901(明治 34)年	9月	・校舎を洛東如意ヶ獄の山麓、鹿ケ谷に新築移転
1904(明治 37)年	5月	・専門学校令準拠に伴い、芝の伝道講習院と合併し浄土宗教大学院へ改称、京都に浄土宗教大学院専門科（分校）を設置
	10月	・浄土宗教大学院を浄土宗大学へ改称、浄土宗教大学院専門科（分校）を浄土宗大学専門科（分校）へ改称
1907(明治 40)年	4月	・浄土宗学制の改革により浄土宗大学を宗教大学へ改称。浄土宗大学専門科（分校）を宗教大学専門科（分校）へ改称
1912(明治 45)年	4月	・財団法人浄土宗教学資団設立
	5月	・【開学】宗教大学より独立。分校を廃止し専門学校令により高等学院設置
1913(大正 2)年	4月	・高等学院を佛教専門学校に改称
1934(昭和 9)年	1月	・市内上京区鷹野北町（現 北区紫野北花ノ坊町）に移転増築
1949(昭和 24)年	4月	・学制改革に伴い、佛教大学を設立、仏教学部仏教学科設置
1951(昭和 26)年	3月	・佛教専門学校廃止
		・組織変更により学校法人浄土宗教育資団設立
1953(昭和 28)年	4月	・通信教育課程開設。仏教学部仏教学科開設
1957(昭和 32)年	4月	・仏教学専攻科設置
1962(昭和 37)年	4月	・仏教学部仏教福祉学科設置
1963(昭和 38)年	4月	・通信教育課程に仏教学部仏教福祉学科開設
1965(昭和 40)年	3月	・仏教学部仏教学科、仏教福祉学科廃止（通学、通信両課程とも）
	4月	・文学部設置。文学部仏教学科、国文学科、社会福祉学科設置
		・通信教育課程に文学部開設。文学部仏教学科、国文学科、社会福祉学科開設
1966(昭和 41)年	4月	・文学部史学科設置
		・通信教育課程に文学部史学科開設
1967(昭和 42)年	4月	・社会学部設置。社会学部社会学科、社会福祉学科設置
		・通信教育課程に社会学部開設。社会学部社会学科、社会福祉学科開設
		・大学院文学研究科仏教学専攻（修士課程）、浄土学専攻（修士課程）設置
1968(昭和 43)年	4月	・文学部教育学科設置
		・通信教育課程に文学部教育学科開設
1969(昭和 44)年	4月	・大学院文学研究科仏教学専攻（博士後期課程）設置
1971(昭和 46)年	4月	・大学院文学研究科日本史学専攻（修士課程）、東洋史学専攻（修士課程）、社会学研究科社会福祉学専攻（修士課程）設置
		・通信教育課程に仏教学専攻科開設
1973(昭和 48)年	4月	・大学院社会学研究科社会学専攻（修士課程）設置
1975(昭和 50)年	4月	・文学部英文学科設置
1976(昭和 51)年	4月	・付属幼稚園設置
1977(昭和 52)年	4月	・大学院文学研究科日本史学専攻(博士後期課程)、東洋史学専攻(博士後期課程)、社会学研究科社会学・社会福祉学専攻(博士後期課程)設置
		・別科（仏教専修）設置（浄山道場開設）
1981(昭和 56)年	4月	・通信教育課程に文学部英文学科開設
		・大学院文学研究科国文学専攻（修士課程）設置
1984(昭和 59)年	11月	・四条センター開設
1986(昭和 61)年	4月	・文学部中国文学科設置
1987(昭和 62)年	4月	・大学院文学研究科英米文学専攻（修士課程）設置
1989(平成 元)年	4月	・教育学部設置。教育学部教育学科、社会教育学科、社会学部応用社会学科設置
1991(平成 3)年	4月	・通信教育課程に文学部中国文学科開設
		・大学院文学研究科国文学専攻（博士後期課程）、仏教文化専攻（修士課程）設置
		・総合研究所開設（仏教文化、仏教社会事業、歴史、心理学、社会学研究所の旧5研究所を統廃合）
1992(平成 4)年	6月	・ロサンゼルス校（B.U.L.A.）開校
1993(平成 5)年	4月	・大学院文学研究科中国文学専攻（修士課程）、教育学研究科生涯教育専攻（修士課程）設置
1995(平成 7)年	4月	・通信教育課程に社会学部応用社会学科開設
		・大学院文学研究科英米文学専攻（博士後期課程）設置
		・臨床心理学研究センター開設

1996（平成 8）年	4月	・通信教育課程に教育学部教育学科開設
1997（平成 9）年	1月	・成徳常照館（新図書館）竣工
1998（平成 10）年	4月	・大学院文学研究科浄土学専攻（博士後期課程）、仏教文化専攻（博士後期課程）、中国文学専攻（博士後期課程）設置
1999（平成 11）年	4月	・教育学部社会教育学科を生涯学習学科に学科名称変更
		・通信制大学院開設。文学研究科浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻、日本史学専攻、東洋史学専攻、中国文学専攻、英米文学専攻（修士課程）、教育学研究科生涯教育専攻（修士課程）、社会学研究科社会福祉学専攻（修士課程）開設
2000（平成 12）年	4月	・教育学部臨床心理学科、社会学部健康福祉学科設置
		・福祉教育開発センター設置
2001（平成 13）年	4月	・文学部国文学科を日本語日本文学科に、中国文学科を中国語中国文学科に、英文学科を英語英米文学科に学科名称変更（通学、通信両課程とも）
		・大学院教育学研究科生涯教育専攻（博士後期課程）設置
		・通信教育課程に大学院文学研究科国文学専攻（修士課程）、社会学研究科社会学専攻（修士課程）開設
2002（平成 14）年	2月	・学校法人華頂学園との法人合併認可
	4月	・大学院教育学研究科臨床心理学専攻（修士課程）設置
2003（平成 15）年	4月	・通信教育課程に大学院文学研究科仏教学専攻（博士後期課程）、日本史学専攻（博士後期課程）、教育学研究科臨床心理学専攻（修士課程）開設
		・アジア宗教文化情報研究所設置
2004（平成 16）年	3月	・通信教育課程の仏教学専攻科廃止
	4月	・社会福祉学部設置。文学部人文学科、社会学部現代社会学科、公共政策学科、社会福祉学部社会福祉学科設置
		・通信教育課程に社会福祉学部開設。文学部人文学科、社会学部現代社会学科、公共政策学科、社会福祉学部社会福祉学科開設
		・文学部中国語中国文学科を中国学科に、英語英米文学科を英米学科に学科名称変更（通学、通信両課程とも）
2005（平成 17）年	4月	・大学院教育学研究科臨床心理学専攻（博士後期課程）設置
2006（平成 18）年	4月	・保健医療技術学部設置。保健医療技術学部理学療法学科、作業療法学科設置
		・大学院社会学研究科社会学専攻（博士後期課程）、大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻（修士課程、博士後期課程）設置
		・通信教育課程に大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻（修士課程）開設
2007（平成19）年	3月	・財団法人大学基準協会（学校教育法第110条に基づく認証評価機関）による「大学基準」適合認定【認定期間:2014（平成26）年3月31日まで】
		・仏教学専攻科廃止
2008（平成 20）年	4月	・アジア宗教文化情報研究所を宗教文化ミュージアムへ改称
2009（平成 21）年	1月	・学校法人東山学園との法人合併認可
	4月	・学校法人浄土宗教育資団を学校法人佛教教育学園に法人名称変更
		・佛教大学付属幼稚園を佛教大学附属幼稚園に園名変更
2010（平成 22）年	4月	・仏教学部、歴史学部設置。仏教学部仏教学科、歴史学部歴史学科、歴史文化学科、文学部日本文学科設置
		・通信教育課程に仏教学部、歴史学部開設。仏教学部仏教学科、歴史学部歴史学科、歴史文化学科、文学部日本文学科開設
2011（平成 23）年	4月	・二条キャンパス開校
2012（平成 24）年	4月	・開学100周年
		・通信教育課程開設60年
		・保健医療技術学部看護学科設置
2013（平成 25）年	3月	・公益財団法人大学基準協会（学校教育法第110条に基づく認証評価機関）による「大学基準」適合認定【認定期間:2020（平成32）年3月31日まで】
2014（平成 26）年	4月	・法然仏教学研究センター開設
	11月	・佛教大学四条センター開設30周年
2015（平成 27）年	4月	・大学院文学研究科仏教学専攻、文学専攻、歴史学専攻（修士課程、博士後期課程）設置
		・通信教育課程に大学院文学研究科仏教学専攻、文学専攻、歴史学専攻（修士課程）、仏教学専攻、歴史学専攻（博士後期課程）開設
2016（平成 28）年	10月	・礼拝堂（水谷幸正記念館）竣工
2017（平成 29）年	3月	・紫野キャンパス整備事業完了
		・ロサンゼルス校（B.U.L.A.）閉校
	7月	・紫野キャンパス15号館 竣工
2020（令和 2）年	3月	・公益財団法人大学基準協会（学校教育法第110条に基づく認証評価機関）による「大学基準」適合認定【認定期間：2027（令和9）年3月31日まで】
	10月	・佛教大学四条センターを紫野キャンパスへ移転
2021（令和 3）年	3月	・福祉教育開発センター廃止
	4月	・総合研究所開設30周年
		・佛教大学オープンラーニングセンター（O.L.C.）開設（四条センター改称）
2022（令和 4）年	4月	・教育学部幼児教育学科設置
		・通信教育課程に教育学部幼児教育学科開設
2023（令和 5）年	4月	・佛教大学附属こども園設置（附属幼稚園から移行）

佛教大学の建学の理念ならびに使命と目的

佛教大学は、学則第1条に示す通り仏教精神を建学の理念とし、大学の責務である「人材養成」を目的とし、「教育」「研究」「社会貢献」の三領域において、仏教精神に基づく多様な活動を行いながら、世界文化の向上と人類福祉の増進に貢献することを使命として、これを達成するために相応しい教育研究組織を設置しています。

[学則第１条]

「本学は学校教育法（昭和22年法律第26号）に基き、仏教精神により人格識見高邁にして、活動力ある人物の養成を目的とし、世界文化の向上、人類福祉の増進に貢献することを使命とする」

[仏教精神]

本学が建学の理念としている仏教精神とは、仏教を開いたゴータマ・ブッダ（釈尊）と浄土宗を開いた法然上人とに共通する生き方と考え方を指します。釈尊は「私とは何か」「私はどう生きるか」そして「私は自分自身に何を期待できるのか」つまり私の生きる道＝人の生きる道を求めて修行し、その道を成就して、われわれに人として歩むべき道を説き示したのです。一方、法然上人は、末法とも呼ばれた混乱の続く不安定な時代にあって、生きることに苦しみ、天災地変や戦乱の苦しみに喘ぐ人々の中で、大乗仏教に私の生きる道＝人の生きる道を求め、自己の愚かさを自覚し、念仏の道を体得し、すべての人が等しく導かれる道を説いたのです。ブッダによってはじめられ、法然上人によって受け継がれた生き様と考え方こそ、「転識得智」なのです。それは現実の生き方の中で、常に己自身のあり方をしっかりと見つめながら、学んできた知識を人生のさまざまな場において何を為すべきか判断する力、実行してゆく力、すなわち生きる力へと転換してゆける智慧を得ることなのです。この二人に共通する生き方こそが仏教精神に他なりません。この精神にのっとり、自らも生かされている社会において、他に幸せを分かち与え、他の苦をぬぐい去る慈悲のこころをもって、自らが生きていることを活かせてゆける人材の養成を目指します。

佛教大学の教育研究上の目的

佛教大学は、使命と目的に基づいて、以下のように具体的な教育研究上の目的を設定し、大学の教育事業を展開していきます。

人材養成の目的

1　仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけた人材、すなわち「人間力」をもった人材を養成する
2　生老病死に関わる諸問題に対応できる人材を養成する
3　社会人として必要な教養や知識・技能を身につけた人材を養成する
4　自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や人間を理解する力を身につけ広い視野で思考できる人材を養成する
5　専門領域に関する知識や技能を修得し、自ら問題を発見し、個人あるいは共同でその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる人材を養成する

その他の教育研究上の目的

1. 教　育

1　人材養成の目的に基づいた多様な教育課程を提供する
2　幅広い人々に向けて生涯にわたる学修の機会を提供する
3　正課・課外の両面にわたって学生への支援を充実する
4　専門領域に応じたキャリア形成支援を推進する

2. 研　究

1　人文科学領域における最新の研究を遂行する
2　社会科学領域における最新の研究を遂行する
3　自然科学・保健医療技術領域における最新の研究を遂行する
4　それぞれの専門領域における研究成果を積極的に教育へ還元する

3. 社会貢献

1　実践や実習、ボランティアなどを通じて地域社会へ貢献する
2　研究成果を積極的に社会に還元し貢献する
3　さまざまな学びの機会、生涯にわたる学びの機会を提供することで社会に貢献する
4　さまざまな領域に優れた人材を輩出し社会に貢献する

佛教大学の教育方針（三つのポリシー）

佛教大学は、建学の理念に基づき、使命と目的ならびに教育研究上の目的を達成するために、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）を以下の通り定めます。

佛教大学のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

人材養成の目的にも示したように、本学は仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけた人材、すなわち「人間力」をもった人材の養成を目指しています。具体的には「転識得智」すなわち社会人として必要な教養や知識・技能および専門知識を生きる力（応用力）へと導く力を培うことを目的とします。
以下に示す力を修得するとともに、学部・学科の人材養成の目的に基づいて設定された教育課程を修めた学生に対して、本学は卒業を認定し学位（学士）を授与します。

1　仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を身につけている
2　仏教精神に基づき、人生における諸問題に対応する力をもっている
3　社会人として必要な教養や知識・技能を身につけている
4　自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や人間を理解する力を身につけ広い視野で思考できる力をもっている
5　専門領域に関する知識や技能を修得し、問題把握力と問題解決力を身につけている

佛教大学のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学はディプロマポリシーに掲げる内容を修得できるよう、各科目群にわたって学生が主体的に学ぶアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、獲得した知識・技能を生きる力（応用力）として定着させます。また、単位修得状況およびGPA等の基準に基づき、知識・技能の修得度を評価します。そのため、順次性・体系性を重視した教育課程を以下の通り編成し、卒業研究（論文・レポート等）によって4年間の学修成果とします。

1　仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する
2　社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目および全学教養科目の科目群を提供する
　ア　現代社会で活動するために必要な基礎的人間力を養成するための科目
　イ　国際的感覚をもち、異文化を理解するために必要な基礎語学力を身につけるための科目
　ウ　アカデミックライティングを修得する初年次科目
　エ　大学生として学問に向かう基本的な姿勢を修得する科目
　オ　専門学修を経たうえで、社会人として批判的かつ多角的に物事を判断できる力を身につける科目
3　学部・学科の専門領域に関する知識・技能を修得し、問題把握力と問題解決力を涵養するための科目群として、以下のような専門科目を提供する。
　ア　学部の学修の基幹をなす科目
　イ　学科のスタディスキルを学ぶ初年次科目「入門ゼミ」をはじめ、学科の学修の基礎となる科目
　ウ　学科における専門学修の中核となる科目
　エ　学部・学科の専門学修に関連して学びを補完する科目

佛教大学のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

本学は、ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーに掲げた内容を修得できる人材として、多様な選考方法を通じて、次に掲げるポリシー（一部またはすべて）に示した意欲と力をもつ人を受け入れます。

佛教大学が求める学生像

1　佛教大学の建学の理念を理解し、本学で学びたいという明確な目的と強い意思をもつ人
2　社会において必要な教養と、社会で通用する実践力を身につけたいと望む人
3　自分が関心を有する分野で、社会に貢献するための判断力・行動力・技術を身につけ、地域において貢献したいと考える人

佛教大学のアドミッションポリシー

1　高等学校等の学習を通じて基礎的な知識・技能を幅広く修得している人
2　自分で課題を見つけだし、それを解決するために、自ら積極的に学ぶ強い意思をもつ人
3　正課だけでなく、正課外での活動も活発に行い、優れたリーダーシップやチームワーク力のある人
4　専攻する分野に関心をもち、その分野で活躍したいという意欲をもつ人
5　明確な目的を定め、目的達成のために粘り強く力を発揮することのできる人
6　実社会での経験・実績などを活用して、常に向上心を抱き、主体的に学習に取り組んでいく姿勢をもつ人
7　浄土宗の教師資格を取得し、浄土宗僧侶として社会に貢献しようという意思をもつ人

以上のアドミッションポリシーを組み合わせることによって、本学は入学試験を実施しています。

学部 / 学科

仏教学部

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけている
②社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけている
③以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけている
ア　浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
イ　仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
④現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけている
⑤仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

仏教学部では、仏教に関する体系的な学修を進めることができるように、段階的な科目開講を行い、基礎知識から専門知識まで着実に蓄積されるような教育課程を編成し、仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的科目ならびに専門的科目を配置する
①仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する
②社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
③仏教精神を社会で活かすために、読解力から表現力に至るまでの、以下の科目群を提供する
ア　仏教を学ぶに際して基本となる読解力を身につけるための基礎科目
イ　仏教の長期にわたる変容の歴史を正しく理解するための歴史科目
ウ　仏教に関わる多様な問題に多面的にアプローチすることで、さまざまな問題を発見し、それを解決する方法を思索するための研究科目
エ　仏教に関わるさまざまな問題にアプローチするための方法として、関連する資料を収集し、批判的に思考しながら資料を読解する力を培う講読科目
オ　仏教に関わるさまざまな問題に関して、多面的な検討を加えるとともに、一定の解答を導き出し、それを論理的に表現する力（話す力・書く力）を培う演習科目
④以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけるためのカリキュラムを提供する
ア　浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
イ　仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
⑤現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を培うために、仏教と現代諸科学に関する科目や実践・体験に関わる科目を提供する
⑥仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を培うための科目を提供する
⑦卒業後の進路に応じた各種の免許状・資格を取得することができるカリキュラムの一部を提供する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●仏教学部が求める学生像
①仏教に対する旺盛な関心と、幅広い読書力をもっている人
②話を聞きとる力、話を筆記する力、自らの考えを表現する力、読書する力、鑑賞する力などが学問を志す者にとって必要であることを理解している人
③アジアの人々の生活の中に、言語や造形や音楽や芸能などを通して根をおろした仏教文化に強い関心をもち、それらに対する専門的な知識を身につけたいと思っている人
④浄土宗教師の中で、特に浄土宗を担うリーダーとなることを目指し、積極的に学ぶ強い意思と自覚をもつ人

仏教学部　仏教学科　取得学位：学士（文学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的知識と専門的知識を修得し、それを表現し、発信していく力を身につけている
②社会人に必要とされる教養として、基礎的な読解力、歴史を正しく理解する力、問題を発見し解決策を検討する力、問題にアプローチするために資料を収集し、批判的に思考しながら読解する力、問題に多面的な検討を加えて解答を導き出し、それを論理的に表現する力を身につけている
③以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけている
ア　浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
イ　仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
④現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を身につけている
⑤仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を身につけている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

仏教学部では、仏教に関する体系的な学修を進めることができるように、段階的な科目開講を行い、基礎知識から専門知識まで着実に蓄積されるような教育課程を編成し、仏教および仏教に関連する研究領域に関わる基礎的科目ならびに専門的科目を配置する
①仏教精神に基づいて、豊かな人間性、確固たる倫理観、智慧と慈悲を培うための科目を提供する
②社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
③仏教精神を社会で活かすために、読解力から表現力に至るまでの、以下の科目群を提供する
ア　仏教を学ぶに際して基本となる読解力を身につけるための基礎科目
イ　仏教の長期にわたる変容の歴史を正しく理解するための歴史科目
ウ　仏教に関わる多様な問題に多面的アプローチすることで、さまざまな問題を発見し、それを解決する方法を思索するための研究科目
エ　仏教に関わるさまざまな問題にアプローチするための方法として、関連する資料を収集し、批判的に思考しながら資料を読解する力を培う講読科目
オ　仏教に関わるさまざまな問題に関して、多面的な検討を加えるとともに、一定の解答を導き出し、それを論理的に表現する力（話す力・書く力）を培う演習科目
④以下の二つのうち、いずれか一つの力を身につけるためのカリキュラムを提供する
ア　浄土宗教師（浄土宗僧侶）として、仏祖・宗祖の精神を備え、それを伝え広めていく力
イ　仏教を学ぶことで培われた知識や技能を、社会のさまざまな場所で積極的に発揮していく力
⑤現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し対応する力を培うために、仏教と現代諸科学に関する科目や実践・体験に関わる科目を提供する
⑥仏教が日本を含むアジアの人々の生活文化の中で果たしてきた役割を再発見、再評価し、それを社会に発信する力を培うための科目を提供する
⑦卒業後の進路に応じた各種の免許状・資格を取得することができるカリキュラムの一部を提供する

学部 / 学科

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●仏教学科が求める学生像
①仏教に対する旺盛な関心と、幅広い読書力をもっている人
②話を聞きとる力、話を筆記する力、自らの考えを表現する力、読書する力、鑑賞する力などが学問を志す者にとって必要であることを理解している人
③アジアの人々の生活の中に、言語や造形や音楽や芸能などを通して根をおろした仏教文化に強い関心をもち、それらに対する専門的な知識を身につけたいと思っている人
④浄土宗教師の中で、特に浄土宗を担うリーダーとなることを目指し、積極的に学ぶ強い意思と自覚をもつ人

通学課程
1949年　仏教学部仏教学科設置
1965年　文学部仏教学科設置
2004年　文学部人文学科設置
2010年　仏教学部仏教学科設置

通信教育課程
1953年　仏教学部仏教学科開設
1965年　文学部仏教学科開設
2004年　文学部人文学科開設
2010年　仏教学部仏教学科開設

文学部

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①社会のさまざまな事象について、建学の理念によって培われた倫理観に基づいて判断を下し、かつ修得した知識を活用して社会的責任を果たすことができる
②日本、中国、英語圏の諸言語・諸文化に関するそれぞれの専門領域において、深い知識と理解力を身につけている
③日本、中国、英語圏の諸言語・諸文化に関するそれぞれの専門領域において、テーマを設定して自らの見解をまとめることができる
④選択した専門領域以外の関連領域について、基礎的な知識を身につけている
⑤国際交流の場において、相互理解のために情報の受信者あるいは発信者として活動できる一定の知識と能力を身につけている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①全学共通科目・全学教養科目の修得を前提とした専門科目を設ける
②国際交流における外国語の重要性に鑑み、全学共通科目において複数の外国語の学修を必須とする
③世界の多様性を理解する基礎となる科目を学部基幹科目に、初年次教育の中心となるゼミ科目を学科基礎科目に設ける
④専門的知識の獲得と理解力の深化をめざし、言語、文学、思想に関する科目を体系的に配置する
⑤言語を基盤とした文化に関する知識と理解力を養成するための科目を体系的に設ける
⑥長期の海外留学制度を設ける
⑦各学科の専門性に対応した教員免許状取得希望者のために関連する科目を提供する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●文学部が求める学生像
①興味をもった事柄や分野についての本を読み、その内容についてまとめることができる人
②日本語、英語、中国語などの言語について、興味と学習意欲をもつ人
③日本や外国の文学や思想、文化について関心のある人
④外国語を活用して仕事をしたり、国際交流などの場において活躍したいと考えている人
⑤日本と外国の相互理解のための知識や能力を身につけたいと考えている人

文学部　日本文学科　取得学位：学士（文学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①日本語学・日本語教育・文学についての専門的な知識・教養、あるいは書道文化についての専門的な知識・技術を社会の幅広い分野で役立てる力を備えている
②日本以外も含めたさまざまな地域の歴史や文化と、文芸の関わりについて、知識と見識を備えている
③口頭あるいは文章によって、適切な日本語を用い、的確に自己表現する力、他者の言葉を理解し、お互いを分かり合う力を備えている
④日本の文化と異文化を相対的に把握でき、国際社会の中で相互理解する力を備えている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②日本の文化に対する高度な理解に基づき、異文化理解を含めた広い分野へと導く段階的な学修プログラムを提供する
③日本語学・日本語教育・文学および書道文化について、専門的な知識・教養・技術を社会に役立てる力を、各自の興味・関心に応じて体系的に修得する科目を設ける
④日本以外も含めたさまざまな地域の歴史や文化と、文芸の関わりについて、実践的な活動を通じて理解する科目を設ける
⑤専門的知識や教養を現代社会に有機的に接続させるためにキャリアプログラム科目を設ける

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●日本文学科が求める学生像
①言葉や文化に深い関心をもつ人
②人間やその営みについて、自ら学び考える意欲のある人
③言葉や文化に関する知識や見解を社会のために役立たせる意欲のある人
④文芸創作の意欲があり、創造性の豊かな人

通学課程
1965年　文学部国文学科設置
2001年　日本語日本文学科に名称変更
2004年　文学部人文学科設置
2010年　文学部日本文学科設置

通信教育課程
1965年　文学部国文学科開設
2001年　日本語日本文学科に名称変更
2004年　文学部人文学科開設
2010年　文学部日本文学科開設

文学部 中国学科 取得学位：学士（文学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①中国語に関する知識と中国の社会や文化に対する理解を有し、相互理解の立場に立ったコミュニケーションができる
②中国語圏に関する幅広い知識をベースに、国際交流に関わるさまざまな問題に対処する能力を身につけている
③海外研修や留学の経験によって培われた自主性と異文化への理解力を、国際交流の場において役立てることができる
④コミュニケーション系を選択した場合は、中・上級程度の中国語運用能力と表現力を身につけている
⑤文献読解系を選択した場合は、設定したテーマについて調査した結果をまとめ、これについて自らの解釈や論証が記述できる

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や知識・技能を修得するための全学共通科目および全学教養科目の履修を前提として専門科目を設定する
②専門領域の学修の基盤となる中国語能力（聞く、読む、話す、書く）を修得するためのカリキュラムを提供する
③人材養成の目的に応じて、中国語コミュニケーション系と文献読解系からなる二つの学修領域を設定する
④主として中国語の実践的運用能力の修得を目指すために、中国コミュニケーション系科目群を提供する
⑤主として中国の言語、文学、思想、文化に対する理解力の修得を目指すために、文献読解系科目群を提供する
⑥中国語情報処理の能力を修得するための科目を設ける
⑦中国の大学等における長期留学制度を設ける
⑧学科の専門性に対応した教員免許状取得希望者のために関連する科目を提供する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●中国学科が求める学生像
①中国語を修得して、その中国語能力を社会において発揮したい人
②現代の中国や古い中国を問わず、中国の文学や思想、文化などに興味をもち、中国と日本との相互理解の基盤となる知識を身につけたい人
③中国に留学して現代の中国を実地に体験し、かつ留学生活で自主性や判断力を養いたい人
④異文化交流に関心をもち、日本と中国の独自性と共通性について理解したい人

通学課程
1986年　文学部中国文学科設置
2001年　中国語中国文学科に名称変更
2004年　中国学科に名称変更

通信教育課程
1991年　文学部中国文学科開設
2001年　中国語中国文学科に名称変更
2004年　中国学科に名称変更

文学部 英米学科 取得学位：学士（文学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている
②英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力をもち、それらを応用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている
③英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる
④文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる
⑤文献検索の方法を熟知し、テクストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②英語とその関連科目および全学共通科目を体系的に履修しながら、問題発見から問題解決へ向かうプロセスを経て、英語検定試験準1級レベルの自己表現力を身につけるべく、段階的で相互関連的に科目を配置したカリキュラムを提供する
③「読み・書き・聞き・話す」の4領域にわたる英語コミュニケーション能力を最大化することを目指して、体系的でかつ総合的な語学とその関連科目を提供する
④コミュニケーション能力と内外の諸事象（歴史、文化、文学、政治、社会など）についての知識は密接不可分であるという認識のもとに、専門科目、関連科目、全学共通科目によって英語圏の文化を中心に幅広い教養科目を提供する
⑤英語力と英語圏文化に関する知識・理解力を応用して、問題発見とその解決能力を養成する研究ゼミ科目を提供する
⑥海外の企業との取引や英語圏大学での学修などでも通用する英語力を修得するための科目を提供する
⑦英語圏での留学プログラムを提供する
⑧英語教育を通して社会に貢献できる教員の養成のために、体系的な英語教育系科目を提供する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●英米学科が求める学生像
①コミュニケーション・ツールとしての英語に興味をもち、英語力を伸ばしたいと考える人
②英語圏の国々に興味をもち、その国々の言語や文化に関する知識や理解を深めたいと考える人
③英語を通じた東西文化の交流に興味をもつ人
④英語教育に興味をもち、英語の教員として社会に貢献することを目指す人
⑤海外で学ぶことや働くことを目標としている人
⑥過去から現在まで、英語によって発信されたさまざまの媒体（文学作品、ニュースなど）を読み、理解することによって、自分の知見を広め、考えを深め、意識を高めようと考える人

通学課程
1975年　文学部英文学科設置
2001年　英語英米文学科に名称変更
2004年　英米学科に名称変更

通信教育課程
1981年　文学部英文学科開設
2001年　英語英米文学科に名称変更
2004年　英米学科に名称変更

歴史学部

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①建学の理念に基づき、豊かな人間性と社会とを支える広い教養を身につけている
②歴史学の学修を通して、日本あるいは世界の個人・文化・社会に関する基本的な知識や技能を有している
③個人・文化・社会などの多様性を理解し、自らの思考や判断に活かすことができる。
④学修の成果を用いながら、自らが設定した課題を考察することができる
⑤地域社会や国際社会に内在する諸問題に関して、学修の成果を援用し課題を発見し、その解決に向けて実践的に取り組むことができる

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

歴史学部では、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します
①歴史学部のカリキュラムは、大学全体で提供される全学共通科目・全学教養科目を通じて養われる知識や教養を基礎にしながら、学部の専門科目を歴史・歴史文化両学科に共通する内容を学ぶ学部基幹科目、各学科の基礎的な内容を学ぶ学科基礎科目、学科の専門的な内容を学ぶ学科専門科目（各領域の学科専攻科目、関連科目）で構成する
②歴史学部における初年次の学修は、学部全体として大学での学びへの円滑な導入および基礎的なアカデミックスキルの修得を目指す「入門ゼミ」と、全学共通科目の「専門学修のための日本語表現」の二つの科目を中心に、両学科に共通する内容を学ぶ学部基幹科目と、各学科の基礎的な内容を学ぶ学科基礎科目で構成する
③研究法ゼミ（２学年）、発展研究ゼミ（３学年）、卒業研究ゼミ（４学年）と継続的にゼミを設置することによって選択領域の学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成を目指す
④専門教育の学修内容を補完し、より幅の広い学修をうながすため、多彩な関連科目を設定する。両学科の関連科目は過去の事象をさまざまな角度から考察する歴史学という学問の特性を考慮して互いに履修可能となるよう設定し、横断的な学修を担保する
⑤関連科目は、京都の歴史や文化を集中的に学ぶ「京都学プログラム」、中学校社会・高等学校地歴・公民の教育職員免許状取得を目指す「教職免許状取得プログラム」、博物館学芸員資格取得を目指す「学芸員資格プログラム」、図書館司書・学校図書館司書教諭資格取得を目指す「図書館司書プログラム」など体系的で効果的な学修を目的にしたプログラム科目群を設定する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●歴史学部が求める学生像
①世界史・日本史・地理など地歴科目のいずれかについてより広範な知識を有している人
②自分の考えを言葉や文章で表現できる人
③歴史や文化について関心のある人
④大学での学修を活かして、社会に積極的に関わろうとする人

歴史学部　歴史学科　取得学位：学士（文学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①日本あるいは世界の歴史について基本的な知識と技能を有し、その重要性を理解している
②学修を通して日本あるいは世界の歴史の時間的・空間的多様性を理解している
③日本あるいは世界の歴史についての学修と現場での学修や体験の成果を統合し、その結果を言葉や文章によって論理的に提示することができる
④学修成果を用いて、現代の地域社会や国際社会に内在する諸問題について考えることができる

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

歴史学科では、歴史の地域的な特性に応じた日本史・東洋史・西洋史の三つの領域を設定し、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します
①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②初年次には、各領域に通底する「日本史概論」・「日本史特論」、「東洋史概論」・「東洋史特論」および「西洋史概論」・「西洋史特論」を必修科目とする。これにより、学科に包摂される文献史学に基づく歴史学研究に関わる学問諸領域の基礎的な知識の修得を目指す
③2学年以降に開始する専門的な学修は、文献史料を読解・分析する力を段階的に養うことを目的にする講読や演習科目、専門的なテーマに関する知識や研究方法などを学ぶ特講を中心に進める
④2学年以降の専門的な学修において、学科が設置する三領域のうち一領域を主専攻として4学年まで継続して専攻科目を学修し、専門的な知識や技能の修得・深化をはかる。また、副専攻として異なる領域の専攻科目を学修することにより、多角的な視点からの学修を進めるとともに、異なる領域に関する知識・技能についても修得を目指す
⑤2学年以降の専門的な学修においては関連科目を設定し、学生が自らの興味や関心に従い選択履修することにより幅広い教養と高度な能力の修得を目指す。関連科目は史料分析方法や文献の読解を目指す諸科目のほか、実践的な力を養うフィールドワーク科目、さまざまな文化に触れる研修などで構成する
⑥2学年以降の専門的な学修で、研究法ゼミ（2学年）、発展研究ゼミ（3学年）、卒業研究ゼミ（4学年）と継続してゼミに所属することによって学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成をはかる
⑦学修成果の総括として4学年において一つの課題に取り組んだ「卒業論文」の執筆を課す。卒業論文については複数の教員が審査（口頭試問）を行う

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●歴史学科が求める学生像
①世界史や日本史いずれかについて、高等学校で学ぶ内容が十分に理解できている人
②日本史・東洋史・西洋史のいずれかの歴史について、強い関心を有している人
③自分の考えを言葉や文章で表現できる人
④歴史の学修を通じて高度な思考力や判断力・表現力を身につけたい人
⑤学修成果を活かして、社会に積極的に関わろうとする人

通学課程
1966年　文学部史学科設置
2004年　文学部人文学科設置
2010年　歴史学部歴史学科設置

通信教育課程
1966年　文学部史学科開設
2004年　文学部人文学科開設
2010年　歴史学部歴史学科開設

歴史学部　歴史文化学科　取得学位：学士（文学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①日本あるいは世界の歴史的な文化事象について基本的な知識と技能を有し、その重要性が理解できている
②自らが専攻する分野・領域を中心に、歴史的な文化事象の時間的・空間的多様性について理解できている
③日本あるいは世界の歴史的な文化事象に関する学修と現場での学修・活動の成果を統合し、その結果を言葉や文章によって論理的に提示できる
④学修成果を用いて、現代の地域社会や国際社会に内在する諸問題について考えることができる

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

歴史文化学科では、歴史的な文化事象の特性に応じた地域文化・民俗文化・芸術文化の三つの文化領域を設定し、学位授与基準を満たす能力の修得を目指して、以下の方針のもとにカリキュラムを編成します
①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②初年次には、各領域に通底する「歴史文化概論」および「地域文化」・「民俗文化」・「芸術文化」の概論を必修科目とする。これにより、学科に包摂される歴史文化の研究に関わる学問諸領域の基礎的な知識の修得を目指す
③2学年以降に開始する専門的な学修は、資料読解・分析の力を段階的に養うことを目的にする演習科目や講読、専門的なテーマに関する知識や研究方法などを学ぶ特講、現場での学びを重視したフィールドワーク科目を中心に進める
④2学年以降の専門的な学修において、学科が設置する三領域のうち一領域を主専攻として4学年まで継続して専攻科目を学修することで専門的な知識や技能の修得・深化をはかる。また、副専攻として異なる領域の専攻科目を学修することにより、多角的な視点からの学修を進めるとともに、異なる領域に関する知識・技能についても修得を目指す
⑤2学年以降の専門的な学修においては関連科目を設定し、学生が自らの興味や関心に従い選択履修することにより幅広い教養と高度な能力の修得を目指す。関連科目は歴史学部における各領域の理解の深まりを学問分野に即して学ぶ科目のほか、フィールドワークの実践的な力を養う科目や研修などで構成する
⑥2学年以降の専門的な学修で、研究法ゼミ（2学年）、発展研究ゼミ（3学年）、卒業研究ゼミ（4学年）と継続してゼミを設置することによって学修の深化をはかるとともに、学生自身による思考・判断、および表現する力の養成を図る
⑦学修成果の総括として4学年において一つの課題に取り組んだ「卒業論文」の執筆を課す。卒業論文については複数の教員が審査（口頭試問）を行う

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●歴史文化学科が求める学生像
①世界史・日本史・地理など地歴科目のいずれかについて、より広範な知識を有している人
②歴史的な文化事象について強い関心を有している人
③自分の考えを言葉や文章で表現できる人
④歴史的な文化事象に関する学修を通じて高度な思考力や判断力・表現力を身につけたい人
⑤学修成果を活かして、社会に積極的に関わろうとする人

通学課程
1966年　文学部史学科設置
2004年　文学部人文学科設置
2010年　歴史学部歴史文化学科設置

通信教育課程
1966年　文学部史学科開設
2004年　文学部人文学科開設
2010年　歴史学部歴史文化学科開設

教育学部

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①学校や病院等、教育支援、臨床心理学的援助が要請される領域の諸問題に積極的に取り組み、問題解決する実行力を身につけている
②教育学あるいは臨床心理学に関わる研究の基礎的方法論を修得するとともに、大学院進学希望にも対応できる十分な資質・能力を身につけている
③教育学や臨床心理学に関わる基礎的な知識・技能および応用力を有し、さらに、それらの領域で情報通信技術を活用できる技能を身につけている
④人間を理解する心を涵養し、社会的な常識を有し、社会の幅広い年齢層の人たちと協働できる人間関係能力を身につけている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を設ける
②初年次より大学での学びや、人間関係能力を高めるための科目を配置し、大学生としての心身の発達を全面的にサポートする
③学生の将来設計に応じて、時代に即した免許・諸資格の取得が効果的・能率的にできるよう、学部の基幹科目、学科別の基礎科目から専攻科目、そして資格の幅を広げる関連科目でカリキュラムを編成する
④教育・臨床心理の領域で高度な技能を有する人材育成を目的として、基礎的・専門的内容を理論と実践の双方から体系的に学ぶことができるようカリキュラムを編成する
⑤教育・保育現場や病院等と連携した実習科目を設置し、実践的な問題解決能力の育成を図る
⑥主体的な学習を通じて、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける
⑦研究を遂行する基礎的能力育成のため、研究方法を学び実践する科目を設ける
⑧情報通信技術を活用した科目を設置し、知識基盤社会および教育・保育現場や病院等での協働業務において必須となる情報活用能力の育成を行う

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●教育学部が求める学生像
①人間の「心」や「学び」について深く学び、研究しようとする気持ちを有する人
②大学で学ぶために十分な資質・能力を有し、ものごとを論理的に考えたり、直感的に捉えたり、それらを活用する力をもっている人
③自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ向上心をもっている人
④他者と積極的に関わり、協力して物事を遂行する力をもっている人
⑤他者を支え、他者の成長を自身の喜びと捉えることのできる人

学部 / 学科

教育学部 教育学科 取得学位：学士（教育学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①子どもの内面を深く理解し、その成長に寄り添い、自立させていくことのできる能力を身につけている
②教育学に関わる理論的知識と学習指導に関わる実践的知識を有し、教育現場での問題の解決に取り組むことができる
③教育職の重要性を自覚し、学校教員として自律でき、範を垂れる人間性を有している
④社会的な常識や幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション能力を有し、諸問題に忍耐強く取り組むことができる
⑤教育現場をはじめチーム学校の一員として、他者と協働しながら業務を円滑に遂行することのできる能力を身につけている
⑥教育学研究の基礎的方法論を会得し、学んだ知識を集大成して卒業論文にまとめる能力、また大学院進学希望者においては、より質の高い研究を遂行するための能力を身につけている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②教育学の理論的知識と実践的知識に関わる科目を系統的に配置し、免許状取得に必要な科目を体系的に履修することができるよう、カリキュラムを編成する
③初等教育、中等教育、特別支援教育といった領域を設定し、教育現場での実践的な教員養成カリキュラムを編成する
④教育現場が必要とする、教科指導力、生活指導力、コミュニケーション力を育成するための科目を設ける
⑤主体的な学習により、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力、情報活用能力、外国語指導能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける
⑥情報基盤社会で必須となる情報通信技術の技能の修得、および教育への活用法についての科目を設ける
⑦教育学分野の論文作成能力育成のため、研究方法を学ぶ科目を設ける
⑧理論的な学修を実践的に検証するため、教育現場教員、学生、大学教員の三者が協力して教育改善に取り組む科目を設ける

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●教育学科が求める学生像
①教育に強い関心をもち、教育の諸問題を解決していこうとする強い意志を有する人
②教育現場をはじめ、チーム学校の一員として活躍したいと考えている人
③組織内で貢献する気持ちを有し、他者と協力して物事を解決することができる人
④自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ向上心をもっている人

通学課程
1968年　文学部教育学科設置
1989年　教育学部教育学科設置
　　教育学部社会教育学科設置
1999年　社会教育学科を生涯学習学科に名称変更
2004年　生涯学習学科の学生募集を停止し、教育学科の収容定員増

通信教育課程
1968年　文学部教育学科開設
1996年　教育学部教育学科開設

教育学部 幼児教育学科 取得学位：学士（教育学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①子どもの内面を深く理解し、その成長に寄り添い、自立させていくことのできる能力を身につけている
②幼児教育学・保育学に関わる理論的知識と保育に関わる実践的知識を有し、幼児教育・保育現場での問題の解決に取り組むことができる
③保育職の重要性を自覚し、保育者として自律でき、範を垂れる人間性を有している
④社会的な常識や幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション能力を有し、諸問題に忍耐強く取り組むことができる
⑤幼児教育・保育現場をはじめ幼稚園・保育園・認定こども園の一員として、他者と協働しながら業務を円滑に遂行することのできる能力を身につけている
⑥幼児教育学・保育学研究の基礎的方法論を会得し、学んだ知識を集大成して卒業論文にまとめる能力、また大学院進学希望者においては、より質の高い研究を遂行するための能力を身につけている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②幼児教育学・保育学の理論的知識と実践的知識に関わる科目を系統的に配置し、免許状・資格取得に必要な科目を体系的に履修することができるよう、カリキュラムを編成する
③幼児教育・保育現場での実践的な保育者養成カリキュラムを編成する
④幼児教育・保育現場が必要とする、保育力、保育技術、コミュニケーション力を育成するための科目を設ける
⑤主体的な学習により、論理的思考力、言語活用能力、問題発見解決能力、情報活用能力、外国語指導能力などグローバル社会で必要とされる能力を育成する科目を設ける
⑥情報基盤社会で必須となる情報通信技術の技能の修得、および教育への活用法についての科目を設ける
⑦幼児教育学・保育学分野の論文作成能力育成のため、研究方法を学ぶ科目を設ける
⑧理論的な学修を実践的に検証するため、幼児教育・保育現場の保育者、学生、大学教員の三者が協力して教育改善に取り組む科目を設ける

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●幼児教育学科が求める学生像
①幼児教育・保育に強い関心をもち、幼児教育・保育の諸問題を解決していこうとする強い意志を有する人
②幼児教育・保育現場をはじめ、幼稚園・保育園・認定こども園の一員として活躍したいと考えている人
③組織内で貢献する気持ちを有し、他者と協力して物事を解決することができる人
④自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ向上心をもっている人

通学課程
2022年　教育学部幼児教育学科設置

通信教育課程
2022年　教育学部幼児教育学科開設

教育学部　臨床心理学科　取得学位：学士（教育学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①人間の成長可能性を信じ、豊かな人間性、確固たる倫理観、心の一般原理としての基礎心理学の知識、個々の人間に寄り添う臨床心理学の知識・技能を身につけている
②基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など、それぞれの分野での心に関わる諸問題の解決・支援に貢献できる力を有している
③社会人として必要な教養や知識・技能を身につけている
④基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、謙虚に自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や他者を理解する力、根拠に基づいた情報を発信する力を有している
⑤基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を修得し、自ら問題を発見し、他者と協働してその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる力を有している

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①人間の成長可能性を信じ、豊かな人間性、確固たる倫理観、心の一般原理としての基礎心理学の知識、個々の人間に寄り添う臨床心理学の知識・技能を身につけるための科目を提供する
②基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など、それぞれの分野での心に関わる諸問題の解決・支援に貢献できる力を涵養するための科目を提供する
③社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるための全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
④基礎心理学・臨床心理学の知識・技能に基づき、謙虚に自己をみつめ自己を理解する力、周囲の環境や他者を理解する力、根拠に基づいた情報を発信する力を涵養する科目を提供する
⑤基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を修得し、自ら問題を発見し、他者と協働してその解決に積極的に取り組み、解決策を提示できる力を涵養するための科目を提供する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●臨床心理学科が求める学生像
①社会において必要な教養と、基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を活用して、社会で通用する実践力を身につけたいと望む人
②教育・医療・福祉・司法矯正・行政・企業など自分が関心を有する分野で、基礎心理学・臨床心理学の知識・技能を活用して、社会に貢献するための判断力・行動力・技術を身につけ、地域において貢献したいと考える人
③人間の心や社会に深い関心をもち、継続的に探究することができる人

通学課程
2000年　教育学部臨床心理学科設置

社会学部

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①社会学または公共政策学に関する幅広い知見を有し、共生社会に貢献することができる
②自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力をもっている
③社会の一員として求められる総合的な教養を身につけている
④現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性を備えている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や知識・技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を設ける
②社会学または公共政策学に関する幅広い知見を有し、共生社会の形成に資する力を培うための科目を提供する
③自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力を培うための科目を提供する
④専門教育の基礎となる総合的な教養を身につけるための科目を提供する
⑤現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性を備えるための科目を提供する
⑥体験や実践を通じて応用力を培い、総合的に表現する力を身につけるための科目を提供する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●社会学部が求める学生像
①学習や体験を通じて社会に対する問題意識を培ってきた人
②他者の考えを理解し、他者を尊重しともに行動しようという意欲のある人

学部 / 学科

社会学部 現代社会学科 取得学位：学士（社会学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①社会学の基礎的知識を修得したうえで、変転する現代社会におけるさまざまな社会現象や社会問題に対して、自己を見失わず常識にとらわれない柔軟な見方ができる
②グローバル化、多文化化する世界の中で、異なる文化や宗教に対して開かれた態度をとり、地域の課題に対して的確な判断が下せる
③差別やマイノリティの問題、さまざまな社会問題について幅広い知見を有し、共生社会の実現に寄与する力を備えている
④現代社会において必要とされる情報リテラシーを身につけ、情報の賢明な受け手としてだけではなく、送り手としてのコミュニケーション能力も有している

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②人材養成の目的に応じて、文化・国際コース、共生・臨床社会コース、情報・メディアコースを設定する
③社会学の基礎知識を修得させる科目を提供する
④さまざまな社会現象や社会問題に対する常識にとらわれない柔軟な見方を養うため、学生自身が手を動かし、足を運び、討議する、各種の実習科目・演習科目を提供する
⑤グローバル化する世界と国内外の多様な文化について理解を深め、現代社会における人間の存在や個人のあり方について根本的に考えさせる科目を提供する
⑥共生の理念のもと、より良い社会を構想するため、マイノリティやジェンダーの問題、家族、学校、職場、地域などで発生する諸問題について理解を深めるための科目を提供する
⑦情報社会における多様なコミュニケーションを社会学的に考えるとともに、メディアの活用方法の修得を通して、情報収集能力、情報発信能力を高める科目を提供する
⑧希望する学生に学科の専門領域に応じた教員免許や諸資格が取得できるカリキュラムを提供する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●現代社会学科が求める学生像
①学習や体験を通じて社会に対する問題意識を培い、世界や地域の社会現象に関心をもっている人
②他者の考えを理解し、他者を尊重しともに行動しようという意欲のある人

通学課程
1967年　社会学部社会学科設置
1989年　社会学部応用社会学科設置
2004年　社会学部現代社会学科設置
（社会学科、応用社会学科を改組改編）

通信教育課程
1967年　社会学部社会学科開設
1995年　社会学部応用社会学科開設
2004年　社会学部現代社会学科開設
（社会学科、応用社会学科を改組改編）

社会学部 公共政策学科 取得学位：学士（社会学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①社会、特に地域社会の課題に取り組むために必要な、政治学、経済学および関連する諸科学に関する基本的な学力を備えている
②地域社会の担い手としての自覚をもち、地域の課題に積極的に取り組む意志と実行力を備えている
③自己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動する力を有している

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②人材養成の目的に応じて、地域政治コースと地域経済コースを設定する
③公共政策に関する基礎知識を修得させる科目を提供する
④地域社会の課題発見や政策形成に関する専門的な学修に資するために、政治学、経済学および関連する諸科学に関わる科目を提供する
⑤コミュニティ・キャンパスをはじめとするさまざまな地域社会と連携して取り組む課題解決型科目を提供する
⑥主体的、能動的な学習機会を確保するために、すべての学年に少人数、双方向の演習科目を提供する
⑦希望する学生に学科の専門領域に関連する資格に対応したカリキュラムを提供する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●公共政策学科が求める学生像
①学習や体験を通じて社会に対する問題意識を培い、地域社会の課題に取り組む意欲をもっている人
②他者の考えを理解し、他者を尊重しともに行動しようという意欲のある人

通学課程
1967年　社会学部社会学科設置
1989年　社会学部応用社会学科設置
2004年　社会学部公共政策学科設置
（社会学科、応用社会学科を改組改編）

通信教育課程
1967年　社会学部社会学科開設
1995年　社会学部応用社会学科開設
2004年　社会学部公共政策学科開設
（社会学科、応用社会学科を改組改編）

社会福祉学部

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①建学の理念に基づき、自己覚知、他者理解のための教養と専門知識、多様な人々とともに生きる知識と作法を身につけている
②人間の共同についての歴史的な理解と現代社会における福祉の意義と課題をとらえ、社会のさまざまな領域で活かすことができる実践力を身につけている
③社会問題への認識を深め、他者を共感的に理解できる姿勢をもち、個人の尊重や社会正義を理解し、社会生活のさまざまな分野で活かすことができる
④市民として、差別や抑圧のない平和で安全な社会に関する知識と教養を身につけている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①全学共通科目・全学教養科目の学修と関連させ、社会福祉学の専門学修のうえで基本認識となる社会のとらえかた、人間理解と実践のありかた、人権に関する基幹科目をおく
②社会福祉学の基礎理論を重視し、福祉問題の現実とその政策的解決や実践的解決を結びつけて学修できるよう、また医療・教育・まちづくりなど関連領域との広がりの中で学修できるよう、分野論、実践論、制度論にわたる体系的な教育課程を提供する
③演習系科目における少人数教育を実施し、教員の指導・援助のもとに、学生１人ひとりが主体的かつ共同して探求する力をはぐくむ教育課程を提供する
④現場との共同により、専門的知識体系を実践的にも学修することができる教育課程を提供する
⑤将来の進路、キャリア形成に応じ免許・資格の取得に結び付く科目を含んだ課程を編成する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●社会福祉学部が求める学生像
①自らの可能性を広げ、目標に向かって努力することができる人
②社会福祉と人間の生涯の発達について関心をもち、現在の社会・生活・教育に関する問題の解決に向けた具体的な方策に関心をもっている人
③多様な他者との関わりから学び、また自ら主体的に学ぶことを通して、社会に貢献しようとする姿勢をもっている人
④社会福祉学を学ぶ基礎となる読解力、歴史や現代社会についての基本的な知識や関心をもつ人

社会福祉学部　社会福祉学科　取得学位：学士（社会福祉学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①基本的人権や社会正義、発達の考え方に基づく福祉の価値を理解し、多様な状況におかれている当事者を共感的に理解し、実践に真摯に向き合うことができる
②豊かなコミュニケーション、他者や異なる集団を理解し共感できる力およびニーズを把握する力を基礎に、社会問題・生活問題を解決・軽減する専門的技能を用いられるようになる
③社会のさまざまな領域において、当事者が主体性を発揮できるよう援助し、人間らしい生活を実現するための実践ができる
④主体的に多様な人々や組織と協働して、全ての人が安心してともに生活ができ、平和でよりよい社会を創り出す知恵と実践力を身につけている
⑤社会福祉・保育の基本的な役割や構成を理解し、人間の行動や社会構造に関わる知見に即して福祉あるいは保育の制度と実践を体系的に理解できている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①専門知識を得て主体的で探求心あふれる学習ができるよう、社会福祉に関わる思想・歴史、原理を重視し、対象理解と実践、制度理解と運営、地域を基盤にした展開や国際的な視点について順次性をもって学修できるように、相互連関的に科目を配置し、教育課程を編成する
②専門職養成の目的に応じて，社会福祉士・精神保健福祉士・保育士養成に関する講義・演習系科目、学科専門を基礎にした教科の免許に関する講義科目を含んだ学士課程を提供する
③演習・ゼミおよび専門資格に関わる実習系科目において、必要な知識、態度、技能を確実に習得できるよう少人数教育を重視する
④対人援助に関する基本的な方法や法制度について学び、乳幼児期から青年期、高齢期までの生活課題に関する援助のあり方や福祉職・保育職の資質・専門性、多様な専門職間での連携を身につけ、ソーシャル・アクションを含めた専門職の社会活動の意義をとらえる科目を配置する
⑤以上の学部学科専門科目の順次性のある学修と全学共通科目・全学教養科目を関連づけ、専門学修を深めながら、その基盤となる教養を学修できるカリキュラムを編成する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●社会福祉学科が求める学生像
①自分の新たな可能性を発見しようとしている人
②社会福祉と人間の生涯の発達について関心をもち、乳幼児期から青年期、高齢期まですべての人々の生活問題や発達支援とその解決に向けた具体的な方策に関心をもつ人
③多様な他者との関わりの中で学ぼうとし、また自ら主体的に学ぶ姿勢を有している人
④社会福祉学を学ぶ基礎となる読解力、歴史や現代社会についての基本となる知識や関心をもつ人

通学課程
1962年　仏教学部仏教福祉学科設置
1965年　文学部社会福祉学科設置
1967年　社会学部社会福祉学科設置
2000年　社会学部健康福祉学科設置
2004年　社会福祉学部社会福祉学科設置
（社会福祉学科、健康福祉学科を改組改編）

通信教育課程
1963年　仏教学部仏教福祉学科開設
1965年　文学部社会福祉学科開設
1967年　社会学部社会福祉学科開設
2004年　社会福祉学部社会福祉学科開設

保健医療技術学部

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①建学の理念に基づいて、共生と平等、人間尊重、平和への希求を体現し、人類の進歩に貢献する力を有している
②医療人として常に人の側にたって、人とともに人生の苦しみとたたかう強い意志や意欲を有している
③医学・医療・保健の世界で活躍するために必要な学力を有し、常に実践の質を高める努力を続ける力を有している
④医療・保健の現場で必要とされる読み書き能力や良好なコミュニケーション能力を有している
⑤研究の面白さや研究的思考方法の基礎を修得することによって、将来、臨床とともに研究も行いうる資質をもっている
⑥互いの専門性の理解のうえにたった対等な立場でのチーム医療や連携実践のあり方を追求する能力を有している
⑦今後のさらなる医学・医療・保健の高度化・国際化・情報化に対応して活躍する力をもっている

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学部は、全学共通科目と全学教養科目に加え理学療法士、作業療法士、看護師の各養成課程の指定規則に定められている科目を基礎的科目から応用的科目まで順序立てて配置する
①医療従事者としての共感性、豊かな人間力を涵養するための科目を配置する
②基礎的学力を充実させるための科目を配置する
③高度医療に対応しうる専門科目を配置する
④実践場面に対応しうる能力を修得するための科目を配置する
⑤研究的思考を養うための科目を配置する
⑥英語を含めた語学科目を配置する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●保健医療技術学部が求める学生像
①医学・医療・保健の知識や技術をもって、人々の役に立ちたいと思う熱意や意志を有している人
②基本的な学習習慣を有し、膨大な医学・医療・保健の知識の修得に地道な努力を続けられる人
③高等学校等での学習を通じて自然科学としての医学を理解するための基礎的学力を有している人
④医療・保健分野において必須となる読み書き能力を身につける意欲を有している人
⑤対人サービスにおいて必要とされる良好なコミュニケーション能力を身につける意欲を有している人

保健医療技術学部　理学療法学科

取得学位：学士（保健学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①理学療法に関する最新の知識と技術を理解する能力を有している
②理学療法に関する体験や実践を通して得た情報を整理し応用する能力を有している
③理学療法に関する専門的知識と技術を習熟する能力を有している
④理学療法士として必要な治療技術および企画力、円滑な対人交流を行う能力を有している

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②医療人としての共感性、豊かな人間力を涵養するための科目を配置する
③基礎的学力を充実させるための科目を配置する
④英語を含めた語学科目を配置する
⑤理学療法士の国家試験に合格しうる専門的知識を修得するため、脳血管疾患領域、運動器疾患領域、呼吸・循環器疾患領域、変性疾患領域に関する科目を配置する
⑥理学療法に関連する各種評価・治療に関する科目および福祉機器、住環境整備、就労支援等に関する科目を提供する
⑦理学療法の実践場面に対応しうる能力を修得するため、心身機能、日常生活、社会適応、治療技術に関する演習および学外医療施設等における総合臨床実習を提供する
⑧理学療法士としての自覚を促し、向上させるための科目を配置する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●理学療法学科が求める学生像
①理学療法士を目指す高い目的意識をもち、真摯な取り組みのできる人
②高等学校等での学習を通じて専門課程に取り組める基礎学力を有している人
③障がいのある人が充実した生活をすごすための具体的な方法について一緒に工夫していきたいと思う人
④理学療法士として社会や地域に貢献したいという意欲をもつ人

通学課程
2006年　保健医療技術学部理学療法学科設置

保健医療技術学部　作業療法学科　取得学位：学士（保健学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①作業療法に関する最新の知識と技術を理解する能力を有している
②作業療法に関する体験や実践を通して得た情報を整理し応用する能力を有している
③作業療法に関する専門的知識と技術を習熟する能力を有している
④作業療法士として必要な企画力・表現力および円滑な対人交流を行う能力を有している

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②医療従事者としての共感性、豊かな人間力を涵養するための科目を配置する
③基礎的学力を充実させるための科目を配置する
④医学・医療の共通言語である英語を含めた語学科目を配置する
⑤作業療法士の国家試験に合格しうる専門的知識を修得するため、身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域等に関する科目を配置する
⑥作業療法に関連する各種評価に関する科目および福祉機器・用具、住環境整備、就労支援等に関する科目を提供する
⑦作業療法の実践場面に対応しうる能力を修得するため、日常生活や社会適応、余暇関連等の活動に関する演習および学外医療施設等における総合臨床実習を提供する
⑧作業療法士としての自覚を促し、向上させるための科目を配置し、各学年において個人面接を実施する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●作業療法学科が求める学生像
①作業療法士を目指す高い目的意識をもち、真摯な取り組みのできる人
②高等学校等での学習を通じて専門課程に取り組める基礎学力を有している人
③障がいのある人が楽しみながら生活するための具体的な方法について一緒に工夫したいと思う人
④作業療法士として社会や地域に貢献したいという意欲をもつ人

通学課程
2006年　保健医療技術学部作業療法学科設置

保健医療技術学部　看護学科　取得学位：学士（保健学）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

①看護活動の場において共感性や豊かな人間性を発揮できる能力を有している
②看護学および隣接領域に関する学識を看護活動の場において発揮できる能力を有している
③基礎的な看護実践能力（知識・技術・態度）を備え、それを発揮できる能力を有している
④看護活動を通して地域社会への貢献ができる能力を有している
⑤看護学および隣接領域の諸分野と連携して活動できる能力を有している
⑥医療の高度化、情報化、国際化に対応できる能力を有している

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①社会人として必要な教養や技能を身につけるために、全学共通科目群と全学教養科目群を提供する
②看護職として求められる基本的な資質や能力を獲得し、人間性を涵養するための科目を配置する
③社会環境の中で存在する人間を包括的に理解することを基盤として、健康に関与する看護学の基本を学ぶための科目を配置する
④多様な看護の場において、対象の健康段階や発達段階の特性とニーズに応じた看護を展開し実践する能力、対象を中心とした連携実践のあり方を身につける科目を配置する
⑤看護の知識と技術を統合し、多様な場、多様な人に対応できる実践能力を身につけるための臨地実習科目を配置する
⑥より良い看護を探求し、専門性の発展に貢献する看護学研究活動の基盤をつくるための科目を配置する

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

●看護学科が求める学生像
①看護の知識と技術をもって、看護の対象となる人の役に立ちたいと思う熱意や意志があり、社会貢献に意欲を有している人
②高等学校までの学習を通して看護学を学ぶために必要な基礎学力を有している人
③人に対する深い関心をもち、多様な人と良好なコミュニケーションを形成する意欲を有している人

通学課程
2012年　保健医療技術学部看護学科設置

大学院

※大学院のディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーについては、本学のホームページを参照ください。

文学研究科 仏教学専攻

取得学位：修士（文学）・博士（文学）

修士課程

◆人材養成の目的

①浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関する高度な専門知識と研究能力を持つ浄土宗教師を養成する。
②浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関する高度な専門知識と研究能力を持つ人材を養成する。
③浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関する高度な専門知識と研究能力を持ち、それを活かした専門職に就きうる人材を養成する。

博士後期課程

◆人材養成の目的

①浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関して、高度な専門知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を養成する。
②浄土学、仏教学、仏教文化を中心とした宗教文化・思想のいずれかに関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

通学課程

1967年　修士課程設置
（浄土学専攻、仏教学専攻。仏教文化専攻は1991年）
1969年　博士後期課程設置
（仏教学専攻。浄土学専攻、仏教文化専攻は1998年）
2015年　修士課程、博士後期課程の各3専攻（浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻）をそれぞれ仏教学専攻として設置

通信教育課程

1999年　修士課程（浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻）開設
2003年　博士後期課程（仏教学専攻）開設
2015年　修士課程（浄土学専攻、仏教学専攻、仏教文化専攻）、博士後期課程（仏教学専攻）をそれぞれ仏教学専攻として開設

文学研究科 文学専攻

取得学位：修士（文学）・博士（文学）

修士課程

◆人材養成の目的

①日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関する教育者・研究者となるための基礎的能力を持った人材を養成する。
②日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関する高度の専門知識・能力を持ち、中学・高校教員等の専門職に従事する人材を養成する。
③日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関する高度の知識を活用して社会基盤を支える知的教養を有し、地域社会や国際社会や国際交流に貢献できる知見を備えた人材を養成する。

博士後期課程

◆人材養成の目的

①日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関して高度な専門的知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を養成する。
②日本、中国、英米の言語・文学・思想・文化に関して確かな教育能力と研究能力とを兼ね備えた教育者を養成する。

通学課程

1981年　修士課程設置
（国文学専攻。中国文学専攻は1993年、英米文学専攻は1987年）
1991年　博士後期課程設置
（国文学専攻。中国文学専攻は1998年、英米文学専攻は1995年）
2015年　修士課程、博士後期課程の各3専攻（国文学専攻、中国文学専攻、英米文学専攻）をそれぞれ文学専攻として設置

通信教育課程

1999年　修士課程開設
（中国文学専攻、英米文学専攻。国文学専攻は2001年）
2015年　修士課程（国文学専攻、中国文学専攻、英米文学専攻）を文学専攻として開設

文学研究科 歴史学専攻

取得学位：修士（文学）・博士（文学）

修士課程

◆人材養成の目的

①歴史学に関する創造性豊かな優れた知的活動を支えるための基礎的能力を持つ人材を養成する。
②歴史学に関する広汎で高度な専門的知識や分析・研究の技能を活用できる人材を養成する。
③世界的視野をもって現代を見つめ、知的基盤社会を支える高度で知的な社会活動が実践できる人材を養成する。

博士後期課程

◆人材養成の目的

①歴史学に関する優れて高度な専門知識をもち、独創性豊かな優れた研究能力と優れた教育能力を兼ね備えた人材を養成する。
②歴史学に関する独創性豊かな優れた研究成果を学界のみならず広く社会に発信し、還元できる人材を養成する。

通学課程

1971年　修士課程（日本史学専攻、東洋史学専攻）設置
1977年　博士後期課程（日本史学専攻、東洋史学専攻）設置
2015年　修士課程、博士後期課程の各2専攻（日本史学専攻、東洋史学専攻）をそれぞれ歴史学専攻として設置

通信教育課程

1999年　修士課程（日本史学専攻、東洋史学専攻）開設
2003年　博士後期課程（日本史学専攻）開設
2015年　修士課程（日本史学専攻、東洋史学専攻）、博士後期課程（日本史学専攻）をそれぞれ歴史学専攻として開設

教育学研究科 生涯教育専攻

取得学位：修士（教育学）・博士（教育学）

修士課程

◆人材養成の目的

①教育学に関する高度な専門的知識、能力をもち、人間の生に寄り添って支援しようとする高度専門職業人を養成する。
②教育学に関する創造性豊かな優れた研究者・教育者となるための基礎的能力を持つ人材を養成する。
③教育学に関する高度な知識と技能をもって、地域社会を支える高度で知的な素養のある人間性豊かな人材を養成する。

博士後期課程

◆人材養成の目的

①教育学に関する高度な専門的知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を養成する。
②教育学に関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

通学課程
1993年　修士課程設置
2001年　博士後期課程設置

通信教育課程
1999年　修士課程開設

教育学研究科 臨床心理学専攻

取得学位：修士（教育学）・博士（教育学）

修士課程

◆人材養成の目的

①高度専門職業人としての「臨床心理士・公認心理師」を養成する。
②臨床心理学、心理臨床学に関する創造性豊かな優れた研究者・教育者となるための専門領域における基礎的能力を持つ人材を養成する。
③臨床心理学、心理臨床学に関する高度な知識と技能を活用しながら、地域社会を支える、高度で知的な素養のある人間性豊かな人材を養成する。

博士後期課程

◆人材養成の目的

①臨床心理学、心理臨床学に関する高度な専門的知識を持ち、創造性豊かな優れた研究能力を持つ研究者を養成する。
②臨床心理学、心理臨床学に関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

通学課程
2002年　修士課程設置
2005年　博士後期課程設置

通信教育課程
2003年　修士課程開設

社会学研究科 社会学専攻

取得学位：修士（社会学）・博士（社会学）

修士課程

◆人材養成の目的

①社会学系の文化、社会情報、共生・臨床、ソーシャル・マネジメント系の環境、地域に関する高度な知識を活用しながら、知識基盤社会を支える、高度で知的な素養のある人材を養成する。
②新しい社会状況に対応し得る、高度な学問的分析と政策提言のできる高度専門職業人を養成する。
③社会学系の文化、社会情報、共生・臨床の3領域、ソーシャル・マネジメント系の環境、地域の2領域に関する創造性豊かな優れた研究者・教育者となるための基礎的能力を持つ人材を養成する。

博士後期課程

◆人材養成の目的

①社会学における文化、社会情報、共生・臨床、環境、地域の研究領域に関して、専門的でかつ先端的な課題に取り組み、高度な研究能力を持つ研究者を養成する。
②社会学における文化、社会情報、共生・臨床、環境、地域の研究領域に関して、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者(大学教員等)を養成する。

通学課程
1973年　修士課程設置
1977年　博士後期課程（社会学・社会福祉学専攻）設置
2006年　博士後期課程（社会学専攻）設置

通信教育課程
2001年　修士課程開設

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻

取得学位：修士（社会福祉学）・博士（社会福祉学）

修士課程

◆人材養成の目的

①社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関する高度な専門的知識・能力を持つ社会福祉関係高度専門職業人を養成する。
②社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関する創造性豊かな研究者・教育者となるための基礎的能力を持つ人材を養成する。
③社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関する高度な知識を活用しながら、福祉社会を支える高度で知的な素養のある人材を養成する。

博士後期課程

◆人材養成の目的

①社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関する高度な専門的知識を持ち、創造性豊かな研究能力を持つ研究者を養成する。
②社会福祉思想・社会福祉史・社会福祉原理論・社会福祉政策論・社会福祉経営論・社会福祉方法論・社会福祉実践論等に関して、確かな教育力と研究力を兼ね備えた教育者（大学教員等）を養成する。

通学課程
1971年　修士課程（社会学研究科社会福祉学専攻）設置
1977年　博士後期課程（社会学研究科社会学・社会福祉学専攻）設置
2006年　修士課程、博士後期課程（社会福祉学研究科社会福祉学専攻）設置

通信教育課程
1999年　修士課程（社会学研究科社会福祉学専攻）開設
2006年　修士課程（社会福祉学研究科社会福祉学専攻）開設

通信教育課程 / 別科

通信教育課程

1953 年開設（関西で最初の正規の通信制大学）／ 1999 年通信制大学院開設（全国初）

学部（本科）

大学通信教育設置基準に基づく正規の大学教育課程（6学部11学科設置）です。
所定の科目（単位）を修得し卒業すれば、学士の学位が取得できます。
また、入学後に免許・資格課程登録の手続きを行うことで、学士の学位と同時に教員免許状や資格を取得することもできます。

大学院

大学院設置基準に基づく正規の大学院課程です。
修了した課程により「修士」または「博士」の学位が取得できます。
文学・教育学・社会学・社会福祉学の4研究科に修士課程7専攻、文学研究科に博士後期課程2専攻を開設しています。

課程本科

日本の大学（新制／4年制）や短期大学を卒業した方が、その学位を活かして、教員免許状や資格を取得できる課程です。学籍上は学部（本科）のいずれかの学科へ3年次編入学することになります。それぞれ取得に必要となる科目のみ履修します。

科目履修コース

科目履修コースには教員免許状課程・資格課程・教養課程の3つの課程があります。
また、特例制度による幼稚園教諭免許状・保育士資格課程も開設しています。
登録できるのはいずれか1課程（教員免許状課程は1免許状、資格課程は1資格）のみです。

本科入学資格コース

佛教大学通信教育課程の学部（本科）への入学志願資格のない方が、学部（本科）への入学資格を取得できるコースです。このコースで修得した単位は、学部（本科）入学後、卒業単位としても認定されます。

免許法認定通信教育

免許法認定通信教育では、教員としての勤務経験が一定年数ある方を対象とし、既に所持する教員免許状を活かして、必要な科目を通信教育で修得することによって、上位の免許状や他種の免許状が取得できます。

別科（仏教専修）

1977 年開設

浄土宗教師を養成する専門課程です。大本山清浄華院山内の浄山道場において、2年間の全寮生活のもと、行学を双修します。所定の単位を修得して伝宗伝戒道場を成満すると、宗規の定めるところにより資格を取得できます。

附属施設・附置機関

附属施設・附置機関

附属図書館

大学の重要な学術情報基盤として、教育・研究に関する専門資料の収集・管理、提供、学術情報の発信により学生の学修、教職員の教育研究支援など教育・研究活動を支援する中枢機関です。

高大連携センター

高大連携事業の実質化を推進し、高等学校等との信頼関係を構築しつつ、高校生等が本学の教育内容への理解を深め、入学、学修することで、教育の充実・発展ならびに人材育成に寄与することを目的にしています。

宗教教育センター（宗門後継者養成道場を含む）

建学の理念である仏教精神の具現化をはかり、宗門後継者養成と宗教情操教育を通じて、建学の精神に則した人材を養成することを目的としています。

健康管理センター

学生・教職員の健康を支援する機関として、病気やケガの応急処置、健康診断に加え、学医・看護師による健康相談、健康づくりのための情報発信も行っています。

学生相談センター

学生の大学生活上の悩み・困りごとについて相談を受け、サポートする機関です。
学生生活充実のためのグループワークなどの企画も行っています。

学生支援センター

すべての学生が等しく教育を受けられるよう、連絡・調整を行う相談窓口です。学生個々の障害状況に応じた授業環境の調整を学部等と協働して実施します。

教職支援センター

「教育実習」、「介護等体験」実施に向けた学内外の窓口として、また、実習指導講師等による教育実習期間中の訪問指導、および実習前後の教育実習支援活動等を行っています。

専門職キャリアサポートセンター

社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、臨床心理士、公認心理師の資格を取得するために必要な実習をサポートしています。

国際交流センター

国際学術交流、海外留学の支援、語学研修プログラムの企画、外国人留学生・研究者の支援など、国際交流に関する教育的支援を行っています。

法然仏教学研究センター

2014年4月開設。佛教大学の建学の理念と研究蓄積を土台とし、法然上人に関わる基礎研究と浄土宗学を徹底して推進することにより、佛教大学でしかなしえない法然仏教学の確立を目指します。
2024年度に開設10周年を迎えました。

総合研究所

様々な研究テーマを立てて組織された複数の共同研究を行い、その研究成果を広く社会へ還元します。1991年4月に既存の5つの研究所を統合し、開設。

臨床心理学研究センター

臨床心理に関する研究・教育の機関として、臨床心理相談室におけるカウンセリング、臨床心理実習における教育、幼稚園・こども園へのカウンセラー派遣など、臨床心理学の学術研究推進とその成果による社会貢献事業を展開します。

宗教文化ミュージアム

仏教の歴史、思想、美術等の宗教文化や嵯峨野地域の伝統や魅力を紹介する展示室と、無形文化遺産の公演等を行うシアターを併せ持つ、地域に根差したミュージアム。

社会連携センター

教育・研究成果から生まれた大学の「知」を活用し、地域の人々、企業、団体、行政との連携に組織的・総合的に取り組み、地域社会における新たなネットワークづくりと諸課題の解決をめざします。

オープンラーニングセンター（O.L.C.）

大学の研究・教育の成果を社会に開放し、各種テーマに基づいた「公開講座」を中心に、市民が気軽に参加できるイベントなど、生涯学習の支援という形で社会への還元を図っていきます。
2021年4月、四条センターからオープンラーニングセンター（O.L.C.）として生まれ変わり、対面とオンラインを融合した「ハイフレックス型」の講座展開と、定額会員制の導入、2024年度からはビジネススキルアップ講座の展開などさらに開かれた生涯学習事業を目指します。

人権教育センター

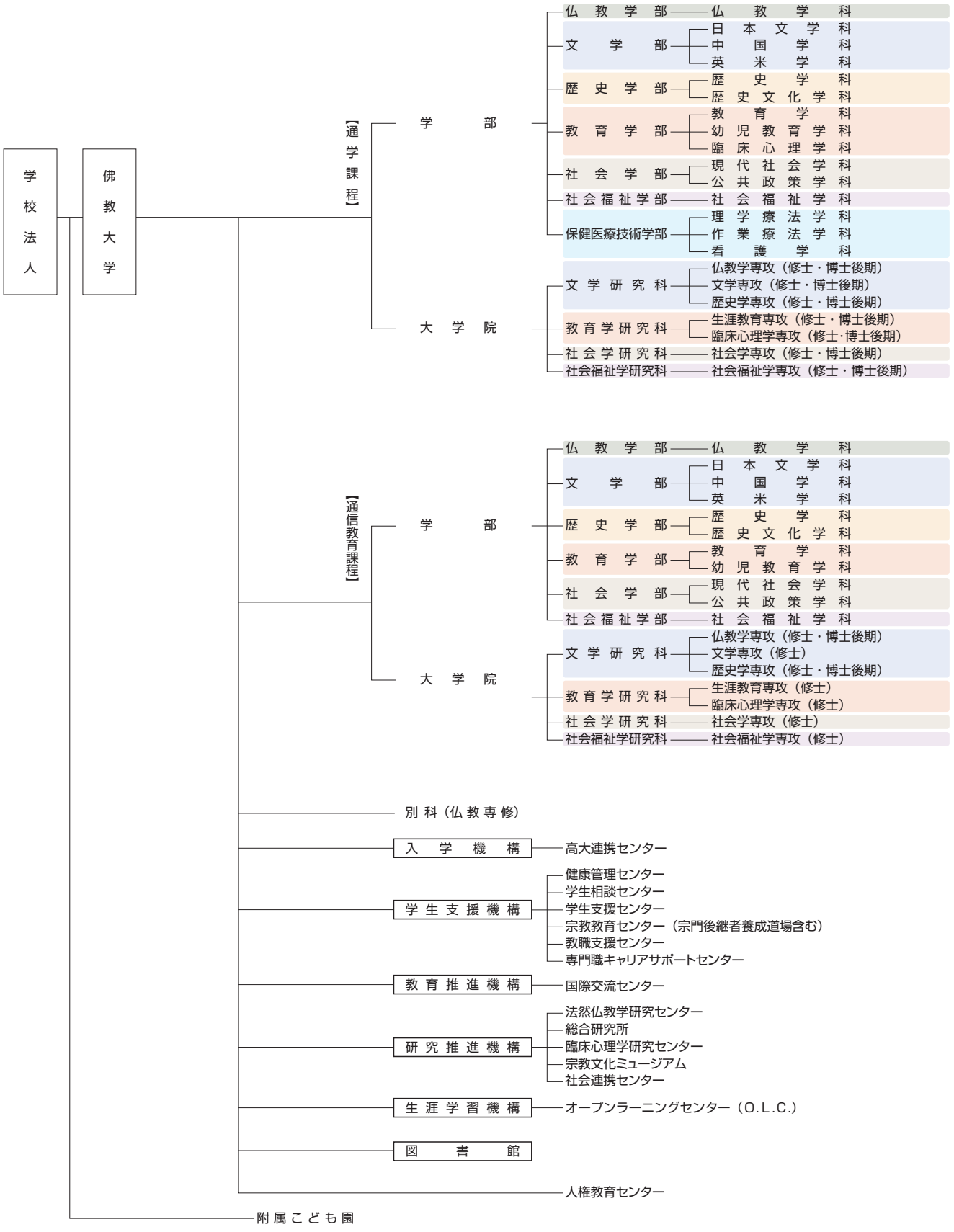
人権教育の推進、人権啓発事業、ハラスメント防止に向けた取組を行い、人権意識の高揚に努めるとともに、ハラスメント等人権侵害の相談にも応じています。

幼保連携型認定こども園　佛教大学附属こども園

子どもたちのありのままの気持ちに寄り添う保育により、仏教精神に基づく心豊かな子どもの育成を行っています。また、大学の附置機関の一つとして、教育者を志す学生の実習の場という役割も果たしています。

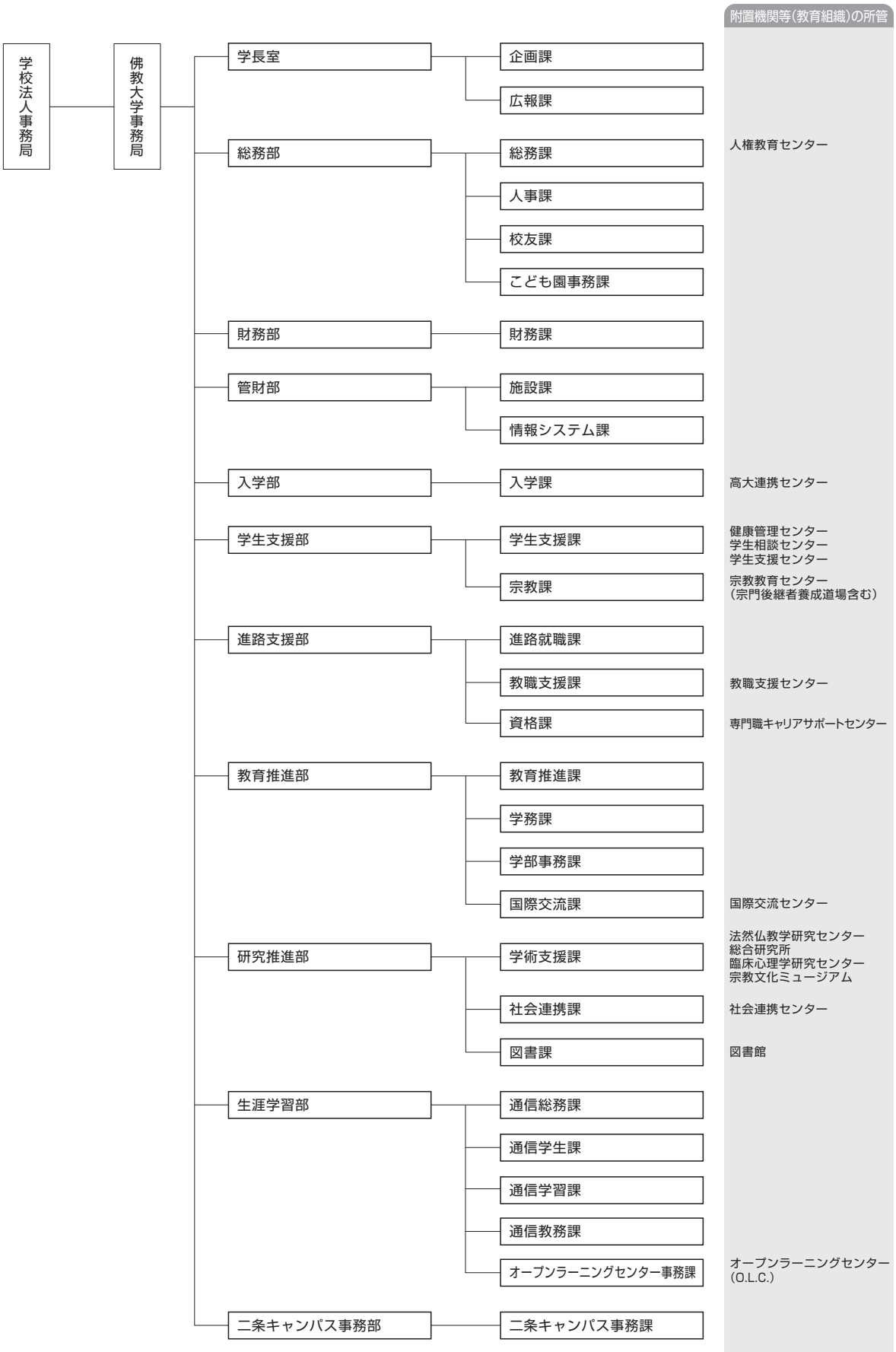
教育機構

2025年度


学校法人
佛教大学
【通学課程】
学部
仏教学部
仏教学科
文学部
日本文学科
中国学科
英米学科
歴史学部
歴史学科
歴史文化学科
教育学部
教育学科
幼児教育学科
臨床心理学科
社会学部
現代社会学科
公共政策学科
社会福祉学部
社会福祉学科
保健医療技術学部
理学療法学科
作業療法学科
看護学科
大学院
文学研究科
仏教学専攻（修士・博士後期）
文学専攻（修士・博士後期）
歴史学専攻（修士・博士後期）
教育学研究科
生涯教育専攻（修士・博士後期）
臨床心理学専攻（修士・博士後期）
社会学研究科
社会学専攻（修士・博士後期）
社会福祉学研究科
社会福祉学専攻（修士・博士後期）
【通信教育課程】
学部
仏教学部
仏教学科
文学部
日本文学科
中国学科
英米学科
歴史学部
歴史学科
歴史文化学科
教育学部
教育学科
幼児教育学科
社会学部
現代社会学科
公共政策学科
社会福祉学部
社会福祉学科
大学院
文学研究科
仏教学専攻（修士・博士後期）
文学専攻（修士）
歴史学専攻（修士・博士後期）
教育学研究科
生涯教育専攻（修士）
臨床心理学専攻（修士）
社会学研究科
社会学専攻（修士）
社会福祉学研究科
社会福祉学専攻（修士）
別科（仏教専修）
入学機構
高大連携センター
学生支援機構
健康管理センター
学生相談センター
学生支援センター
宗教教育センター（宗門後継者養成道場含む）
教職支援センター
専門職キャリアサポートセンター
教育推進機構
国際交流センター
研究推進機構
法然仏教学研究センター
総合研究所
臨床心理学研究センター
宗教文化ミュージアム
社会連携センター
生涯学習機構
オープンラーニングセンター（O.L.C.）
図書館
人権教育センター
附属こども園

事務機構

2025年度


学校法人事務局
佛教大学事務局
学長室
企画課
広報課
総務部
総務課
人事課
校友課
こども園事務課
財務部
財務課
管財部
施設課
情報システム課
入学部
入学課
学生支援部
学生支援課
宗教課
進路支援部
進路就職課
教職支援課
資格課
教育推進部
教育推進課
学務課
学部事務課
国際交流課
研究推進部
学術支援課
社会連携課
図書課
生涯学習部
通信総務課
通信学生課
通信学習課
通信教務課
オープンラーニングセンター事務課
二条キャンパス事務部
二条キャンパス事務課
附置機関等(教育組織)の所管
人権教育センター
高大連携センター
健康管理センター
学生相談センター
学生支援センター
宗教教育センター
(宗門後継者養成道場含む)
教職支援センター
専門職キャリアサポートセンター
国際交流センター
法然仏教学研究センター
総合研究所
臨床心理学研究センター
宗教文化ミュージアム
社会連携センター
図書館
オープンラーニングセンター
(O.L.C.)

役職者／教員・職員数

2025年5月1日現在

役職者

役職名	氏名
学長	佐藤　和順
副学長	岡﨑　祐司
	貝　　英幸
	細田　典明
事務局長	井畑　和孝

役職名	氏名
仏教学部長	曽和　義宏
文学部長	鵜飼　光昌
歴史学部長	麓　　慎一
教育学部長	小林　　隆
社会学部長	大谷　栄一
社会福祉学部長	加美　嘉史
保健医療技術学部長	小澤　一史

専任教員

区分		教授			内特別任用			准教授			内特別任用			講師			内特別任用			助教			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
仏教学部	仏教学科	5	1	6	1	0	1	6	0	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	-	-	12	1	13
	小計	5	1	6	1	0	1	6	0	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	-	-	12	1	13
文学部	日本文学科	5	2	7	0	1	1	3	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	-	-	9	2	11
	中国学科	3	0	3	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	3	4	1	0	1	-	-	-	4	5	9
	英米学科	4	0	4	1	0	1	0	2	2	0	0	0	3	1	4	0	0	0	-	-	-	7	3	10
	小計	12	2	14	1	1	2	3	4	7	0	0	0	5	4	9	1	0	1	-	-	-	20	10	30
歴史学部	歴史学科	6	1	7	1	0	1	2	1	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-	-	-	8	3	11
	歴史文化学科	4	2	6	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	-	-	8	2	10
	小計	10	3	13	1	0	1	5	1	6	0	0	0	1	1	2	0	0	0	-	-	-	16	5	21
教育学部	教育学科	11	2	13	2	1	3	5	4	9	0	0	0	3	0	3	3	0	3	-	-	-	19	6	25
	幼児教育学科	5	3	8	1	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	5	5	10
	臨床心理学科	5	0	5	0	0	0	3	1	4	0	0	0	2	0	2	1	0	1	-	-	-	10	1	11
	小計	21	5	26	3	1	4	8	7	15	0	0	0	5	0	5	4	0	4	-	-	-	34	12	46
社会学部	現代社会学科	7	3	10	0	0	0	4	0	4	0	0	0	2	0	2	0	0	0	-	-	-	13	3	16
	公共政策学科	7	2	9	0	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	12	2	14
	小計	14	5	19	0	0	0	9	0	9	0	0	0	2	0	2	0	0	0	-	-	-	25	5	30
社会福祉学部	社会福祉学科	10	6	16	0	0	0	4	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	14	8	22
	小計	10	6	16	0	0	0	4	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	14	8	22
保健医療技術学部	理学療法学科	4	0	4	0	0	0	4	1	5	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4	0	4	13	1	14
	作業療法学科	2	2	4	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	1	3	5	7	12
	看護学科	1	8	9	0	0	0	0	6	6	0	0	0	1	4	5	0	0	0	2	7	9	4	25	29
	小計	7	10	17	0	0	0	5	10	15	0	0	0	2	5	7	0	0	0	8	8	16	22	33	55
実習指導講師		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4	12	-	-	-	-	-	-	8	4	12
契約講師		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0
学生支援センター講師		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	1	0	1	-	-	-	1	0	1
合計		79	32	111	6	2	8	40	24	64	0	0	0	25	14	39	6	0	6	8	8	16	152	78	230

事務職員

区分	男	女	合計
専任職員	77	87	164
契約専門職員	10	23	33
合計	87	110	197

客員教授

男	女	合計
2	0	2

非常勤講師

通学課程	通信教育課程	合計
450	147	597

※両課程を担当する場合、課程ごとに計上

入試・入学状況

2025年度

通学課程（学部）

学部	学科（定員）		一般選抜（共通テスト含）	総合型選抜（自己推薦制）	学校推薦型選抜（公募制）	その他の選抜	合計
仏教学部	仏教学科（60）	志願者数	103	7	112	44	266
		受験者数	100	7	110	44	261
		合格者数	77	7	85	42	211
		実質競争率	1.3	1.0	1.3	1.0	1.2
		入学者数	11	7	8	34	60
文学部	日本文学科（120）	志願者数	522	17	814	49	1,402
		受験者数	500	17	805	49	1,371
		合格者数	215	17	241	49	522
		実質競争率	2.3	1.0	3.3	1.0	2.6
		入学者数	44	17	42	37	140
	中国学科（50）	志願者数	105	0	80	19	204
		受験者数	105	-	80	18	203
		合格者数	78	-	58	18	154
		実質競争率	1.3	-	1.4	1.0	1.3
		入学者数	15	-	6	13	34
	英米学科（70）	志願者数	258	3	362	41	664
		受験者数	255	3	358	41	657
		合格者数	88	3	262	41	394
		実質競争率	2.9	1.0	1.4	1.0	1.7
		入学者数	13	3	38	28	82
	文学部合計（240）	志願者数	885	20	1,256	109	2,270
		受験者数	860	20	1,243	108	2,231
		合格者数	381	20	561	108	1,070
		実質競争率	2.3	1.0	2.2	1.0	2.1
		入学者数	72	20	86	78	256
歴史学部	歴史学科（110）	志願者数	558	16	915	50	1,539
		受験者数	553	16	907	49	1,525
		合格者数	141	12	252	48	453
		実質競争率	3.9	1.3	3.6	1.0	3.4
		入学者数	28	12	36	33	109
	歴史文化学科（70）	志願者数	360	7	510	26	903
		受験者数	346	7	502	26	881
		合格者数	126	7	183	26	342
		実質競争率	2.7	1.0	2.7	1.0	2.6
		入学者数	17	7	23	21	68
	歴史学部合計（180）	志願者数	918	23	1,425	76	2,442
		受験者数	899	23	1,409	75	2,406
		合格者数	267	19	435	74	795
		実質競争率	3.4	1.2	3.2	1.0	3.0
		入学者数	45	19	59	54	177
教育学部	教育学科（130）	志願者数	1,138	20	1,479	80	2,717
		受験者数	1,130	19	1,470	80	2,699
		合格者数	218	13	156	77	464
		実質競争率	5.2	1.5	9.4	1.0	5.8
		入学者数	38	13	37	47	135
	幼児教育学科（80）	志願者数	295	11	480	59	845
		受験者数	292	11	479	59	841
		合格者数	87	8	47	56	198
		実質競争率	3.4	1.4	10.2	1.1	4.2
		入学者数	24	8	12	49	93
	臨床心理学科（80）	志願者数	276	12	470	39	797
		受験者数	267	12	459	39	777
		合格者数	85	11	99	39	234
		実質競争率	3.1	1.1	4.6	1.0	3.3
		入学者数	22	11	21	31	85
	教育学部合計（290）	志願者数	1,709	43	2,429	178	4,359
		受験者数	1,689	42	2,408	178	4,317
		合格者数	390	32	302	172	896
		実質競争率	4.3	1.3	8.0	1.0	4.8
		入学者数	84	32	70	127	313

学部	学科（定員）		一般選抜（共通テスト含）	総合型選抜（自己推薦制）	学校推薦型選抜（公募制）	その他の選抜	合計
現代社会学部	現代社会学科（200）	志願者数	833	30	1,492	130	2,485
		受験者数	814	29	1,481	130	2,454
		合格者数	200	20	228	127	575
		実質競争率	4.1	1.5	6.5	1.0	4.3
		入学者数	30	19	36	108	193
	公共政策学科（120）	志願者数	496	15	622	84	1,217
		受験者数	480	15	620	84	1,199
		合格者数	154	15	109	84	362
		実質競争率	3.1	1.0	5.7	1.0	3.3
		入学者数	22	15	13	65	115
	現代社会学部合計（320）	志願者数	1,329	45	2,114	214	3,702
		受験者数	1,294	44	2,101	214	3,653
		合格者数	354	35	337	211	937
		実質競争率	3.7	1.3	6.2	1.0	3.9
		入学者数	52	34	49	173	308
社会福祉学部	社会福祉学科（220）	志願者数	592	35	1,427	108	2,162
		受験者数	579	35	1,415	106	2,135
		合格者数	177	34	545	105	861
		実質競争率	3.3	1.0	2.6	1.0	2.5
		入学者数	34	34	79	94	241
保健医療学部	理学療法学科（40）	志願者数	178	9	302	21	510
		受験者数	169	9	300	21	499
		合格者数	55	4	29	21	109
		実質競争率	3.1	2.3	10.3	1.0	4.6
		入学者数	9	4	9	18	40
	作業療法学科（40）	志願者数	53	9	164	20	246
		受験者数	49	9	164	20	242
		合格者数	19	8	54	20	101
		実質競争率	2.6	1.1	3.0	1.0	2.4
		入学者数	5	8	11	17	41
	看護学科（65）	志願者数	435	10	868	56	1,369
		受験者数	426	10	851	56	1,343
		合格者数	91	7	47	55	200
		実質競争率	4.7	1.4	18.1	1.0	6.7
		入学者数	25	7	10	38	80
	保健医療技術学部合計（145）	志願者数	666	28	1,334	97	2,125
		受験者数	644	28	1,315	97	2,084
		合格者数	165	19	130	96	410
		実質競争率	3.9	1.5	10.1	1.0	5.1
		入学者数	39	19	30	73	161
大学計（1,455）		志願者数	6,202	201	10,097	826	17,326
		受験者数	6,065	199	10,001	822	17,087
		合格者数	1,811	166	2,395	808	5,180
		実質競争率	3.3	1.2	4.2	1.0	3.3
		入学者数	337	165	381	633	1,516

入試・入学状況

通学課程（編入学・転籍等）

学部	学科	編入学					転学部・転学科・転籍			
		定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願者数	受験者数	合格者数	異動者数
仏教学部	仏教学科	若干名	1	1	1	1	0	-	-	-
	小計	若干名	1	1	1	1	0	-	-	-
文学部	日本文学科	若干名	1	1	1	1	0	-	-	-
	中国学科	若干名	0	-	-	-	0	-	-	-
	英米学科	若干名	0	-	-	-	0	-	-	-
	小計	若干名	1	1	1	1	0	-	-	-
歴史学部	歴史学科	若干名	-	-	-	-	1	1	0	-
	歴史文化学科	若干名	-	-	-	-	0	-	-	-
	小計	若干名	0	0	0	0	1	1	0	-
教育学部	教育学科	若干名	3	3	1	1	0	-	-	-
	幼児教育学科	若干名	0	-	-	-	1	1	0	-
	臨床心理学科	若干名	0	-	-	-	1	0	-	-
	小計	若干名	3	3	1	1	2	1	0	-
社会学部	現代社会学科	若干名	-	-	-	-	0	-	-	-
	公共政策学科	若干名	-	-	-	-	2	1	0	-
	小計	若干名	0	0	0	0	2	1	0	-
社会福祉学部	社会福祉学科	若干名	4	2	1	1	5	5	2	2
	小計	若干名	4	2	1	1	5	5	2	2
合計		若干名	9	7	4	4	10	8	2	2

別科（仏教専修）

別科（仏教専修）	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	40	5	4	4	4

大学院

区分	研究科	専攻	通学課程					通信教育課程				
			定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
修士課程	文学研究科	仏教学専攻	10	6	6	4	4	15	4	4	4	4
		文学専攻	10	5	5	3	3	15	6	5	5	5
		歴史学専攻	10	13	13	8	8	15	6	5	1	1
		小計	30	24	24	15	15	45	16	14	10	10
	教育学研究科	生涯教育専攻	10	1	1	1	0	10	13	13	11	11
		臨床心理学専攻	10	13	11	8	7	6	42	41	6	6
		小計	20	14	12	9	7	16	55	54	17	17
	社会学研究科	社会学専攻	5	3	3	2	2	10	7	7	6	6
		小計	5	3	3	2	2	10	7	7	6	6
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	5	4	3	0	0	10	4	4	2	2
		小計	5	4	3	0	0	10	4	4	2	2
	修士課程合計		60	45	42	26	24	81	82	79	35	35
博士後期課程	文学研究科	仏教学専攻	3	1	1	1	1	3	2	2	2	1
		文学専攻	3	1	0	-	-					
		歴史学専攻	3	0	-	-	-	3	5	5	2	2
		小計	9	2	1	1	1	6	7	7	4	3
	教育学研究科	生涯教育専攻	3	7	7	7	7					
		臨床心理学専攻	3	0	-	-	-					
		小計	6	7	7	7	7					
	社会学研究科	社会学専攻	3	1	1	1	1					
		小計	3	1	1	1	1					
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	3	2	2	1	1					
		小計	3	2	2	1	1					
	博士後期課程合計		21	12	11	10	10	6	7	7	4	3
大学院合計			81	57	53	36	34	87	89	86	39	38

在籍学生数

2025年5月1日現在

通学課程

区分		第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				合計			
		定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員		
			男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
学部																					
仏教学部	仏教学科	60	55	11	66	60	52	8	60	60	35	9	44	60	67	9	76	240	209	37	246
	小計	60	55	11	66	60	52	8	60	60	35	9	44	60	67	9	76	240	209	37	246
文学部	日本文学科	120	63	78	141	120	66	66	132	120	64	74	138	120	63	78	141	480	256	296	552
	中国学科	50	21	15	36	50	11	16	27	50	16	19	35	50	17	22	39	200	65	72	137
	英米学科	70	56	28	84	70	71	21	92	70	42	18	60	70	51	31	82	280	220	98	318
	小計	240	140	121	261	240	148	103	251	240	122	111	233	240	131	131	262	960	541	466	1,007
歴史学部	歴史学科	110	84	25	109	110	89	30	119	110	96	28	124	110	105	36	141	440	374	119	493
	歴史文化学科	70	38	30	68	70	43	40	83	70	41	27	68	70	42	47	89	280	164	144	308
	小計	180	122	55	177	180	132	70	202	180	137	55	192	180	147	83	230	720	538	263	801
教育学部	教育学科	130	76	59	135	130	73	68	141	130	68	65	133	130	74	62	136	520	291	254	545
	幼児教育学科	80	11	83	94	80	10	74	84	80	5	76	81	80	8	90	98	320	34	323	357
	臨床心理学科	80	34	51	85	80	40	51	91	80	32	55	87	80	39	51	90	320	145	208	353
	小計	290	121	193	314	290	123	193	316	290	105	196	301	290	121	203	324	1,160	470	785	1,255
社会学部	現代社会学科	200	117	77	194	200	131	79	210	200	145	85	230	200	121	85	206	800	514	326	840
	公共政策学科	120	87	29	116	120	85	29	114	120	99	35	134	120	110	29	139	480	381	122	503
	小計	320	204	106	310	320	216	108	324	320	244	120	364	320	231	114	345	1,280	895	448	1,343
社会福祉学部	社会福祉学科	220	110	132	242	220	103	125	228	220	88	143	231	220	108	132	240	880	409	532	941
	小計	220	110	132	242	220	103	125	228	220	88	143	231	220	108	132	240	880	409	532	941
保健医療技術学部	理学療法学科	40	18	23	41	40	15	32	47	40	14	26	40	40	22	21	43	160	69	102	171
	作業療法学科	40	12	30	42	40	9	32	41	40	16	26	42	40	10	30	40	160	47	118	165
	看護学科	65	5	75	80	65	6	62	68	65	5	62	67	65	10	53	63	260	26	252	278
	小計	145	35	128	163	145	30	126	156	145	35	114	149	145	42	104	146	580	142	472	614
学部合計		1,455	787	746	1,533	1,455	804	733	1,537	1,455	766	748	1,514	1,455	847	776	1,623	5,820	3,204	3,003	6,207
その他																					
別科		40	4	0	4	40	9	0	9	-	-	-	-	-	-	-	-	80	13	0	13
科目履修生		-	16	18	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	18	34
研究員・研究生		-	15	11	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	11	26

在籍学生数

区分			第1学年				第2学年				第3学年				合計			
			定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員		
				男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
大学院																		
修士課程	文学研究科	仏教学専攻	10	3	1	4	10	6	0	6	-	-	-	-	20	9	1	10
		文学専攻	10	2	1	3	10	4	4	8	-	-	-	-	20	6	5	11
		歴史学専攻	10	6	2	8	10	4	3	7	-	-	-	-	20	10	5	15
		小計	30	11	4	15	30	14	7	21	-	-	-	-	60	25	11	36
	教育学研究科	生涯教育専攻	10	0	0	0	10	1	1	2	-	-	-	-	20	1	1	2
		臨床心理学専攻	10	4	3	7	10	5	5	10	-	-	-	-	20	9	8	17
		小計	20	4	3	7	20	6	6	12	-	-	-	-	40	10	9	19
	社会学研究科	社会学専攻	5	2	0	2	5	4	3	7	-	-	-	-	10	6	3	9
		小計	5	2	0	2	5	4	3	7	-	-	-	-	10	6	3	9
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	5	0	0	0	5	2	3	5	-	-	-	-	10	2	3	5
		小計	5	0	0	0	5	2	3	5	-	-	-	-	10	2	3	5
	修士課程合計		60	17	7	24	60	26	19	45	-	-	-	-	120	43	26	69
博士後期課程	文学研究科	仏教学専攻	3	0	1	1	3	0	0	0	3	4	0	4	9	4	1	5
		文学専攻	3	0	0	0	3	1	1	2	3	0	0	0	9	1	1	2
		歴史学専攻	3	0	0	0	3	1	0	1	3	1	1	2	9	2	1	3
		小計	9	0	1	1	9	2	1	3	9	5	1	6	27	7	3	10
	教育学研究科	生涯教育専攻	3	3	4	7	3	0	4	4	3	1	3	4	9	4	11	15
		臨床心理学専攻	3	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	9	0	0	0
		小計	6	3	4	7	6	0	4	4	6	1	3	4	18	4	11	15
	社会学研究科	社会学専攻	3	0	1	1	3	1	0	1	3	6	3	9	9	7	4	11
		小計	3	0	1	1	3	1	0	1	3	6	3	9	9	7	4	11
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	3	0	1	1	3	1	1	2	3	3	9	12	9	4	11	15
		小計	3	0	1	1	3	1	1	2	3	3	9	12	9	4	11	15
	博士後期課程合計		21	3	7	10	21	4	6	10	21	15	16	31	63	22	29	51
大学院合計			81	20	14	34	81	30	25	55	21	15	16	31	183	65	55	120

通信教育課程

区分		第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				合計			
		定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員		
			男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
学部																					
仏教学部	仏教学科	100	12	9	21	100	9	8	17	250	40	26	66	250	88	65	153	700	149	108	257
	小計	100	12	9	21	100	9	8	17	250	40	26	66	250	88	65	153	700	149	108	257
文学部	日本文学科	100	11	29	40	100	12	29	41	250	62	69	131	250	110	167	277	700	195	294	489
	中国学科	50	3	7	10	50	3	6	9	100	6	19	25	100	10	31	41	300	22	63	85
	英米学科	100	13	14	27	100	13	18	31	400	65	92	157	400	162	191	353	1,000	253	315	568
	小計	250	27	50	77	250	28	53	81	750	133	180	313	750	282	389	671	2,000	470	672	1,142
歴史学部	歴史学科	100	14	24	38	100	24	17	41	200	127	41	168	200	247	116	363	600	412	198	610
	歴史文化学科	100	7	36	43	100	16	18	34	350	32	61	93	350	81	99	180	900	136	214	350
	小計	200	21	60	81	200	40	35	75	550	159	102	261	550	328	215	543	1,500	548	412	960
教育学部	教育学科	400	36	29	65	400	39	32	71	1,400	266	260	526	1,400	631	519	1,150	3,600	972	840	1,812
	幼児教育学科	50	1	12	13	100	3	15	18	200	10	36	46	200	4	25	29	550	18	88	106
	小計	450	37	41	78	500	42	47	89	1,600	276	296	572	1,600	635	544	1,179	4,150	990	928	1,918
社会学部	現代社会学科	300	16	14	30	300	16	12	28	700	38	20	58	700	56	49	105	2,000	126	95	221
	公共政策学科	100	3	2	5	100	4	0	4	400	6	2	8	400	15	9	24	1,000	28	13	41
	小計	400	19	16	35	400	20	12	32	1,100	44	22	66	1,100	71	58	129	3,000	154	108	262
社会福祉学部	社会福祉学科	200	11	24	35	200	7	33	40	700	23	69	92	700	76	238	314	1,800	117	364	481
	小計	200	11	24	35	200	7	33	40	700	23	69	92	700	76	238	314	1,800	117	364	481
学部合計		1,600	127	200	327	1,650	146	188	334	4,950	675	695	1,370	4,950	1,480	1,509	2,989	13,150	2,428	2,592	5,020
その他																					
科目履修コース		-	1,080	1,072	2,152	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,080	1,072	2,152
認定通信教育		-	126	195	321	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	126	195	321
本科入学資格コース		-	5	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	7
合計		-	1,211	1,269	2,480	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,211	1,269	2,480

在籍学生数

区分			第1学年				第2学年				第3学年				合計			
			定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員		
				男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
大学院																		
修士課程	文学研究科	仏教学専攻	15	5	0	5	15	5	1	6	-	-	-	-	30	10	1	11
		文学専攻	15	4	1	5	15	5	4	9	-	-	-	-	30	9	5	14
		歴史学専攻	15	1	0	1	15	5	2	7	-	-	-	-	30	6	2	8
		小計	45	10	1	11	45	15	7	22	-	-	-	-	90	25	8	33
	教育学研究科	生涯教育専攻	10	6	6	12	10	8	6	14	-	-	-	-	20	14	12	26
		臨床心理学専攻	6	2	4	6	6	3	3	6	6	4	4	8	18	9	11	20
		小計	16	8	10	18	16	11	9	20	6	4	4	8	38	23	23	46
	社会学研究科	社会学専攻	10	2	4	6	10	6	2	8	-	-	-	-	20	8	6	14
		小計	10	2	4	6	10	6	2	8	-	-	-	-	20	8	6	14
	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	10	2	0	2	10	6	3	9	-	-	-	-	20	8	3	11
		小計	10	2	0	2	10	6	3	9	-	-	-	-	20	8	3	11
	修士課程合計		81	22	15	37	81	38	21	59	6	4	4	8	168	64	40	104
博士後期課程	文学研究科	仏教学専攻	3	1	0	1	3	0	1	1	3	7	0	7	9	8	1	9
		歴史学専攻	3	2	0	2	3	2	1	3	3	6	2	8	9	10	3	13
		小計	6	3	0	3	6	2	2	4	6	13	2	15	18	18	4	22
	博士後期課程合計		6	3	0	3	6	2	2	4	6	13	2	15	18	18	4	22
大学院合計			87	25	15	40	87	40	23	63	12	17	6	23	186	82	44	126

卒業者・学位授与者・修了者数

2024年度

学部 卒業者数

※1 卒業者累計には昭和40年3月卒業生までの539名を含む　※2 卒業者累計には昭和40年9月卒業生までの623名を含む

学部・学科		通学課程		通信教育課程	
		令和6年度	累計	令和6年度	累計
仏教学部	仏教学科	43	1236※1	22	859※2
	仏教福祉学科	-	22	-	65
	小計	43	1,258	22	924
文学部	日本文学科	112	1,474	17	151
	中国学科	52	900	10	84
	英米学科	71	1,343	28	536
	人文学科	-	2,125	-	423
	仏教学科	-	4,789	-	2,469
	史学科	-	4,969	-	1,695
	国文学科	-	3,427	-	1,587
	日本語日本文学科	-	345	-	84
	中国文学科	-	872	-	179
	中国語中国文学科	-	174	-	39
	英文学科	-	2,284	-	1,922
	英語英米文学科	-	258	-	176
	教育学科	-	2,456	-	3,287
	社会福祉学科	-	79	-	128
	小計	235	25,495	55	12,760
歴史学部	歴史学科	101	1,382	15	125
	歴史文化学科	70	849	16	132
	小計	171	2,231	31	257
教育学部	教育学科	151	4,238	63	2,586
	臨床心理学科	69	1,383		
	社会教育学科	-	903		
	生涯学習学科	-	427		
	小計	220	6,951	63	2,586
社会学部	現代社会学科	197	3,945	6	154
	公共政策学科	113	2,346	5	77
	社会学科	-	7,733	-	1,368
	応用社会学科	-	2,246	-	571
	社会福祉学科	-	6,893	-	18,850
	健康福祉学科	-	515		
	小計	310	23,678	11	21,020
社会福祉学部	社会福祉学科	260	5,180	62	1,371
	小計	260	5,180	62	1,371
保健医療技術学部	理学療法学科	34	621		
	作業療法学科	41	556		
	看護学科	66	648		
	小計	141	1,825		
学部合計		1,380	66,618	244	38,918

大学院 学位授与者数

研究科		通学課程		通信教育課程	
		令和6年度	累計	令和6年度	累計
修士課程	文学研究科	14	1,132	11	663
	教育学研究科	9	483	18	356
	社会学研究科	1	285	5	196
	社会福祉学研究科	1	42	3	116
合　計		25	1,942	37	1,331

研究科		通学課程		通信教育課程	
		令和6年度	累計	令和6年度	累計
博士後期課程	文学研究科	2	100	3	38
	教育学研究科	4	25		
	社会学研究科	-	33		
	社会福祉学研究科	1	22		
合　計		7	180	3	38

専攻科／別科 修了者数

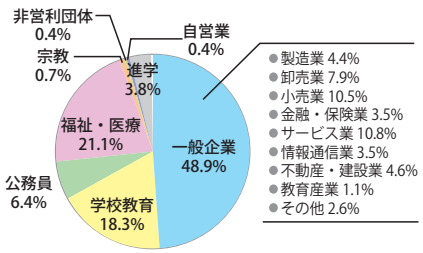
課程	通学課程		通信教育課程	
	令和6年度	累計	令和6年度	累計
専攻科	-	402	-	107
別科（仏教専修）	5	601		

進路・就職

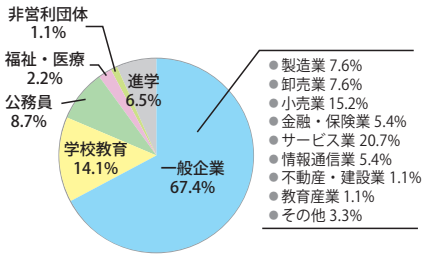
2024年度卒業生

卒業生　進路状況一覧

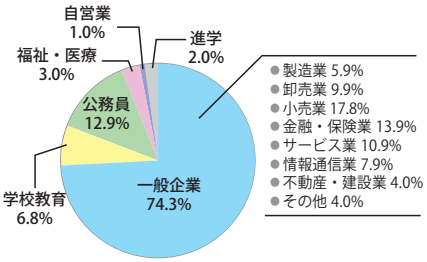
●全学部・学科



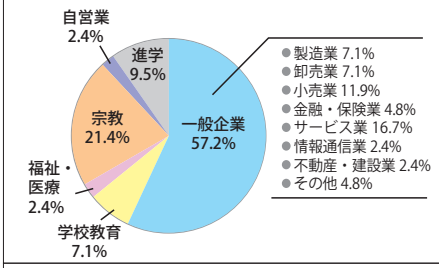
●歴史学科



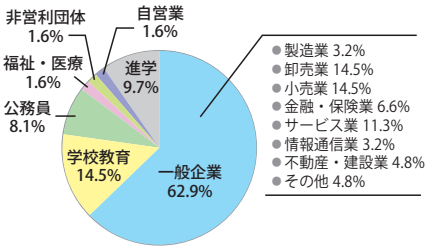
●公共政策学科



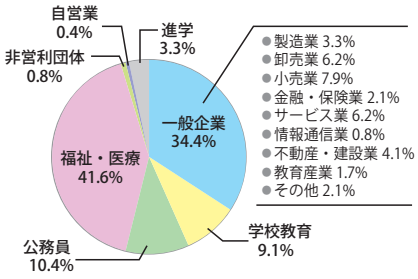
●仏教学科



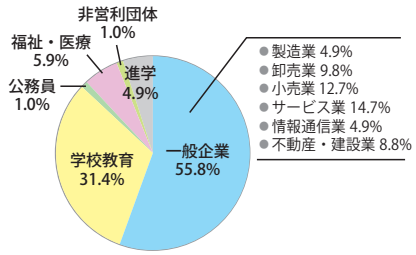
●歴史文化学科



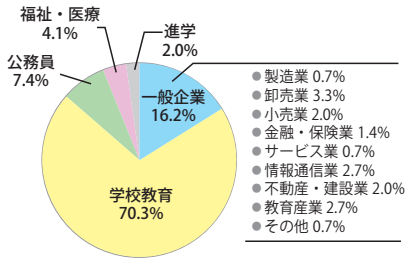
●社会福祉学科



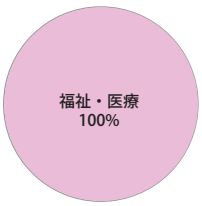
●日本文学科



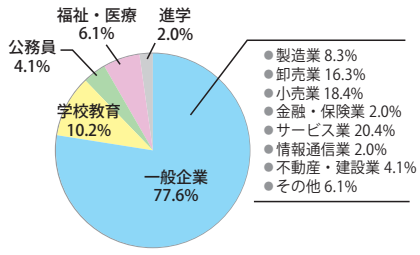
●教育学科



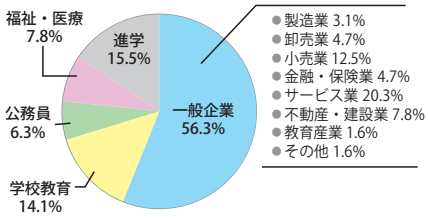
●理学療法学科



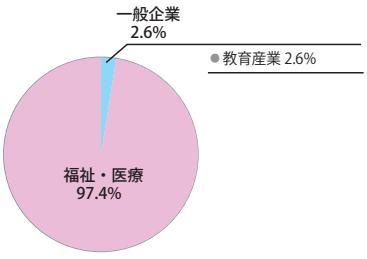
●中国学科



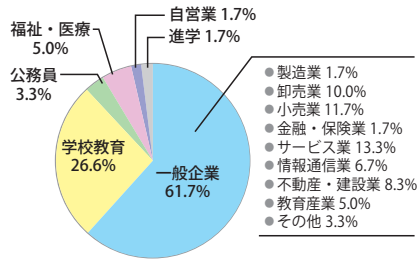
●臨床心理学科



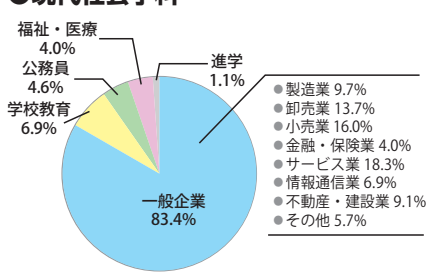
●作業療法学科



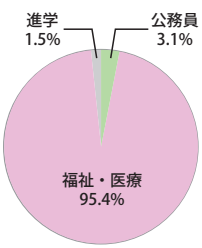
●英米学科



●現代社会学科



●看護学科



インターンシップ受入事業所・学校数

2024年度

インターンシップ

分類	受入事業所数	受入人数
製造	0	0
卸売・小売	2	7
商社	0	0
広告・印刷	0	0
金融・証券・保険	1	3
サービス	1	4
人材ビジネス	0	0
ホテル・旅館	0	0
情報通信	0	0
不動産	1	3
建設	0	0
非営利団体	0	0
合計	5	17

教育職インターンシップ

所管	校種	研修校数	受入人数
京都府教育委員会	小学校	2	3
	中学校	1	1
	高等学校	0	0
	特別支援学校	2	4
	小　計	5	8
京都市教育委員会	小学校	2	2
	中学校	4	5
	高等学校	1	1
	小　計	7	8
滋賀県内教育委員会	小学校	3	5
	中学校	1	1
	高等学校	1	1
	小　計	5	7
佛教大学附属幼稚園		0	0
合計		17	23

インターンシップ修了者数

2024年度

インターンシップ

学科	2年生			3年生			4年生			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
仏教学科			0			0			0	0
日本文学科	1		1	1	1	2			0	3
中国学科			0		1	1			0	1
英米学科			0		2	2			0	2
歴史学科			0	3	1	4			0	4
歴史文化学科			0			0			0	0
教育学科			0			0			0	0
幼児教育学科			0			0				0
臨床心理学科			0			0			0	0
現代社会学科	1	4	5			0			0	5
公共政策学科			0	2		2			0	2
社会福祉学科			0			0			0	0
理学療法学科			0			0			0	0
作業療法学科			0			0			0	0
看護学科			0			0			0	0
総計	2	4	6	6	5	11	0	0	0	17

教育職インターンシップ

学科	2年生			3年生			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
仏教学科	0	0	0	0	0	0	0
日本文学科	0	0	0	1	1	2	2
中国学科	0	0	0	0	1	1	1
英米学科	0	0	0	0	2	2	2
歴史学科	0	0	0	2	0	2	2
歴史文化学科	0	0	0	0	0	0	0
教育学科	0	0	0	3	5	8	8
幼児教育学科	0	0	0	0	2	2	2
臨床心理学科	0	0	0	0	0	0	0
現代社会学科	0	1	1	2	0	2	3
公共政策学科	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉学科	0	0	0	1	2	3	3
合計	0	1	1	9	13	22	23

教員免許状・資格取得者数

2024年度

教員免許状取得者数　（　）内は免許併修による取得者数

区分	通学課程	通信教育課程	合計
幼稚園	45(17)	8	33
小学校	135(31)	109	235
中学校	255(12)	139	362
高等学校	317(15)	179	460
特別支援学校	55	32	86
合　計	807(75)	467	1,176

資格取得者数

区分	通学課程	通信教育課程	合計
図書館司書	46	2	44
学校図書館司書教諭	25	12	36
学校司書	8	-	11
博物館学芸員	35	26	82
社会教育主事	5	5	13
社会福祉士国家試験受験資格	132	37	149
精神保健福祉士国家試験受験資格	16	4	31
保育士	66	6	75
公認心理師国家試験受験資格	8	3	12
臨床心理士試験受験資格	8	6	17
理学療法士国家試験受験資格	34	-	41
作業療法士国家試験受験資格	41	-	35
看護師国家試験受験資格	66	-	61
保健師国家試験受験資格	14	-	15
浄土宗教師	16	4	19
浄土宗開教使	0	-	0
浄土宗社会教化主事	3	-	3
社会調査士	22	-	22
合　計	545	105	666

※2024年9月および2025年3月取得者数。

実習実施者数

2024年度

教育実習実施者数　（　）内は免許併修による実施件数

区分	通学課程	通信教育課程	合計
小学校	87	339(37)	426
中学校･高等学校	299	276(12)	575
幼稚園	107	33(18)	140
特別支援学校	55	55	110
合計	548	703	1,251

介護等体験実施件数

区分	通学課程	通信教育課程	合計
社会福祉施設等	364	243	607
特別支援学校	384	286	670
代替措置※1	9	10	19
合計※2	398	306	704

※1 新型コロナウイルス感染拡大の影響により，代替措置を実施した件数
※2 介護等体験を実施した人数

博物館実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
37	42	79

心理実習実施者数（学部）

通学課程	通信教育課程	合計
32	―	32

臨床心理実習・心理実践実習実施者数（大学院）

通学課程	通信教育課程	合計
17	7	24

図書館実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
8	—	8

社会教育実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
5	5	10

社会福祉援助技術現場実習・ソーシャルワーク実習実施者数

	通学課程	通信教育課程	合計
社会福祉援助技術現場実習	1	14	15
ソーシャルワーク実習	270	40	310

精神保健福祉援助実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
40	14	54

保育実習実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
365	16	381

社会福祉総合実習（高校福祉免許）実施者数

通学課程	通信教育課程	合計
0	1	1

理学療法実習実施者数

学年	科目名	実習実施者数
2	臨床基礎実習	40
3	臨床評価実習	36
4	総合臨床実習Ⅰ	34
	総合臨床実習Ⅱ	34

作業療法実習実施者数

学年	科目名	実習実施者数
1	臨床見学実習	41
2	臨床基礎実習Ⅱ	40
3	臨床評価実習	37
4	総合臨床実習Ⅰ	40
	総合臨床実習Ⅱ	41
	総合臨床実習Ⅲ	41

看護実習実施者数

学年	科目名	実習実施者数
1	コミュニティ実習	67
	基礎看護学実習Ⅰ	67
2	基礎看護学実習Ⅱ	69
3	クリティカルケア看護学実習	60
	慢性看護学実習	61
	老年看護学実習	60
4	小児看護学実習	66
	母性看護学実習	66
	精神看護学実習	66
	在宅看護学実習	66
	統合実践看護実習	67
	公衆衛生看護学実習Ⅰ＊	14
	公衆衛生看護学実習Ⅱ＊	14

＊保健師課程履修者のみ

国家試験合格率

2024年度

国家試験合格者

資格名	実施回	受験者数		合格者数		合格率		全国平均
		通学課程	通信教育課程	通学課程	通信教育課程	通学課程	通信教育課程	
社会福祉士	第37回	122	38	85	26	69.7%	68.4%	56.3%
精神保健福祉士	第27回	16	4	13	4	81.3%	100.0%	70.7%
公認心理師	第8回	8	3	8	2	100.0%	66.7%	66.9%
理学療法士	第60回	34	-	32		94.1%	-	89.6%
作業療法士	第60回	41	-	37	-	90.2%	-	85.8%
看護師	第114回	66	-	66	-	100.0%	-	90.1%
保健師	第111回	14	-	14	-	100.0%	-	94.0%

宗教情操行事

2024年度

宗教情操行事

時期	日程	行事名	会場	参加人数等
随時	通学課程授業開講期間 春学期・秋学期	朝の宗教行事	礼拝堂（水谷幸正記念館）	–
随時	通学課程開講期間中の毎月25日前後	法然上人御聖日行事	礼拝堂（水谷幸正記念館）	–
4月	5日	新入生祖山（知恩院）参拝	浄土宗総本山知恩院	578名
	8日	花まつり（釈尊降誕会）	礼拝堂（水谷幸正記念館）前	–
5月	12日	還愚の会（春の寺院参拝）	清浄華院・廬山寺・ 百萬遍知恩寺・金戒光明寺	32名
7月	5日	仏陀庵（ぶっだあん）・腕輪念珠作り	礼拝堂（水谷幸正記念館）	約200名
9月	7日～9日	授戒会	礼拝堂（水谷幸正記念館）	19名
10月	13日	還愚の会（秋の寺院参拝）	知恩院 京都国立博物館	24名
11月	2日～4日	宗教教育センター作品展 ＊応募作品17点	礼拝堂（水谷幸正記念館）	–
12月	6日	釈尊涅槃会・腕輪念珠作り	礼拝堂（水谷幸正記念館）	約30名
1月	22日	釈尊涅槃会・腕輪念珠作り	二条キャンパス	72名
	23日	法然上人御忌会	礼拝堂（水谷幸正記念館）	約10名

国際交流

2025年5月1日現在

学術交流協定等

交流先	国・地域	内容	協定等年月日
圓光大学校	韓国	教員・研究者の交流（研究教授・講義教授） 学生の交流（学部生・大学院生）　学術交流　出版物交換	1973年5月13日
東國大学校	韓国	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流　出版物交換	1984年5月18日
西北大学	中国	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術資料の交換　学術交流	1987年3月17日
江南大学校	韓国	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流　出版物交換	1987年6月30日
東海大学	台湾	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術会議交流　出版物交換	1989年3月24日
浄覚佛教研究所	台湾	学術交流　研究者の交流 出版物交換	1989年10月11日
中華佛学研究所	台湾	学術交流　研究者の交流 出版物交換	1989年10月15日
中央僧伽大学校	韓国	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流　出版物交換	1993年10月18日
中国佛教文化研究所	中国	研究者の交流　学術交流 出版物交換	1995年5月29日
ホーチミン市 外国語情報技術大学 （HUFLIT）	ベトナム	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術会議交流　出版物交換	2000年4月25日
ハワイ大学マノア校	アメリカ	学生の交流（学部生・大学院生）　教職員の交換・交流 学術交流　出版物交換 学生の特別プログラム（実習を含む）	2000年6月5日
慈済大学	台湾	教員・研究者の交流　学生の交流 学術会議交流　学術資料の交換	2001年10月2日
ザナバザル仏教大学	モンゴル	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術会議交流　学術資料の交換	2003年7月21日
吉林大学	中国	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術資料の交換　学術交流	2006年6月19日
College of the Desert	アメリカ	学生の教育交流・短期英語プログラムの実施	2008年3月19日
ディーキン大学	オーストラリア	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術交流　学術資料の交換	2009年2月11日
中国社会科学院 文学研究所	中国	共同研究　学術シンポジウムの開催　学生の交流 研究者の交流　出版物交換	2016年11月1日
北京語言大学	中国	教員・研究者の交流　学生の交流（学部生・大学院生） 学術資料の交換　共同研究・国際会議等の開催	2017年11月1日
ホーチミン テクノロジー大学	ベトナム	学生の交流（短期交換留学・語学研修）	2020年3月12日
ビクトリア大学	カナダ	教員・職員・学生の英語教育の促進 文化活動　研究資料の交換	2019年8月6日
バンクーバー アイランド大学	カナダ	教員・職員の就学，交換　学生の就学 共同研究　客員教授受入れ　出版物交換	2019年8月8日
ベルビューカレッジ	アメリカ	交換留学　出版物交換 相互合意に基づいた学術的交流	2019年8月12日
マルタ大学	マルタ	長期・短期の英語研修プログラム 1セメスターの留学プログラム	2021年5月12日
カンタベリー大学	ニュージーランド	短期の英語研修プログラム等 継続的な協力関係	2021年8月15日
エドモンズカレッジ	アメリカ	学生の交流　言語と文化のプログラム、共同研究及び研究集会 学術上の情報・刊行物及び資料の交換、両当事者が合意するその他の活動	2021年9月29日
レイクヘッド大学	カナダ	短期の英語研修プログラム等	2022年3月9日
ナイアガラカレッジ	カナダ	研究、教育、研究を目的とした教職員及び学生の訪問及び交流 共同研究やセミナー・講演会等の共同イニシアティブ、客員研究員 共通の関心を有する情報、出版物及びその他の資料を交換すること	2022年7月5日
ロイヤルメルボルン 工科大学	オーストラリア	短期および長期英語プログラムの実施	2023年3月6日
グリフィス大学	オーストラリア	短期英語プログラムの実施	2024年7月31日
東亜大学校	韓国	教育・研究者の交流（学部生・大学院生の正規・短期） 学術交流（学術会議の開催・共同研究）出版物交換	2025年5月20日
レスター大学	イギリス	短期英語プログラムの実施	2025年5月20日

短期海外語学研修

2024年度

語種	研修先	所在地	期間	人数
朝鮮語	東國大学校	韓国　ソウル市	2024年8月4日～2024年8月17日	6
英語	マルタ大学	マルタ共和国　バレッタ	2024年8月9日～2024年8月26日	23
	ディーキン大学	オーストラリア　ヴィクトリア州	2025年2月4日～2025年3月16日	14
	College of the Desert（C.O.D.）	アメリカ　カリフォルニア州　パームデザート	2025年3月2日～2025年3月23日	4
ベトナム語	HUTECH大学	ベトナム　ホーチミン市	2025年2月25日～2025年3月7日	4

短期交換留学・派遣留学・学部留学プログラム

①短期交換留学（受入）

2024年度

期	国・地域	出身大学	所在地	人数	期間等
春学期	中国	西北大学	西安市	1	2024年4月1日～2024年9月19日
	台湾	慈済大学	花蓮市	1	
		東海大学	台中市	0	
	韓国	江南大学校	龍仁市	1	
		東國大学校	ソウル市	1	
		圓光大学校	釜山市	2	
	ベトナム	ホーチミン市外国語情報技術大学	ホーチミン市	2	2024年4月1日～2025年3月31日
秋学期	台湾	慈済大学	花蓮市	2	2024年9月20日～2025年3月31日
		東海大学	台中市	1	
	韓国	江南大学校	龍仁市	1	
		東國大学校	ソウル市	2	

②短期交換留学（派遣）

期	国・地域	留学先	所在地	人数	期間等
春学期	中国	西北大学	西安市	0	2024年4月1日～2025年3月31日
	韓国	圓光大学校	釜山市	0	
		東國大学校	ソウル市	1	
		江南大学校	龍仁市	0	
秋学期	台湾	慈済大学	花蓮市	1	2024年9月20日～2025年9月19日
		東海大学	台中市	1	
	ベトナム	ホーチミン市外国語情報技術大学	ホーチミン市	0	

③派遣留学

国・地域	留学先	所在地	人数	期間等
アメリカ	College of the Desert（C.O.D.）	カリフォルニア州　パームデザート	0	2024年9月20日～2025年9月19日

④学部留学プログラム

	国・地域	留学先	所在地	人数	期間等
中国学科	中国	吉林大学	吉林省長春市	春学期：1	2024年3月2日～2024年6月30日
				秋学期：7	2024年9月3日～2025年1月6日
英米学科	カナダ	ナイアガラ・カレッジ付属英語学校	オンタリオ州　ウェランド	秋学期：6	2024年8月27日～2024年12月16日
	オーストラリア	グリフィス大学付属英語学校	クイーンズランド州　ブリスベン	秋学期：1	2024年8月27日～2024年12月16日
				秋学期：7	2024年10月1日～2024年12月16日
		ロイヤルメルボルン工科大学（RMIT）付属英語学校	ヴィクトリア州　メルボルン	秋学期：4	2024年8月21日～2024年12月16日
				秋学期：8	2024年10月2日～2024年12月16日
				秋学期：11※	2024年10月6日～2024年12月12日
	マルタ共和国	マルタ大学付属英語学校	バレッタ	秋学期：8	2024年9月21日～2024年12月15日
				秋学期：11	2024年9月21日～2024年12月1日

※オンラインにて実施

留学生受入れ数

2025年5月1日現在

区分	学部											大学院							研究員		研究生		科目履修生		別科		合計		
	1年		2年		3年		4年		計			修士		博士		計													
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
中　国	0	0	3	2	1	0	1	2	5	4	9	4	2	1	1	5	3	8	0	1	3	2	0	0	0	0	13	10	23
韓　国	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	2	5	7
ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3	1	2	0	0	1	6	7
台　湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
香　港	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2
カザフスタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	0	0	4	2	1	1	2	2	7	5	12	4	4	1	1	5	5	10	0	1	3	6	2	8	0	0	17	25	42

※在留資格が「留学」の在籍者集計

社会連携

■地域社会との連携

【京都市北区内4大学・京都市北区役所・京都市北消防署・京都府北警察署】

協定名称：京都市北区における大学・地域包括連携協定（2012年7月19日）

2024年度

	内　容
主な事業	●北区学生×地域応援団プロジェクト会議 ●北区「WA（わ）のこころ」創生ネットワーク会議 ●「みんなでつくる安心安全なまち北区推進協議会」 ●北区民ふれあいまつり ●自転車安全利用啓発活動 ●北区「WAのこころ」創生講座–文化のWA–

【京都市中京区役所】

協定名称：地域連携・協力に関する協定（2011年12月21日）、京都市中京区災害ボランティアセンター設置に関する協定（2012年3月23日）

2024年度

	内　容
主な事業	●「世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動」中京区推進協議会 ●中京区防災会議 ●二条駅地域安全ネットワーク会議 ●中京区民ふれあい事業実行委員会 ●二条城周辺地域活性化協議会 ●中京区民ふれあいまつり ●中京区防災訓練 ●二条駅かいわいまちづくり実行委員会 ●二条駅かいわい土曜マルシェ

【京都府南丹市】

協定名称：地域発展と人材育成に関する協定（2006年11月22日）

2024年度

	内　容
主な事業	●京都モデルフォレスト（森林保全）運動 三共精機株式会社・地域住民・行政と連携し、美山町宮脇地区での森林保全活動

【滋賀県大津市】

2024年度

	内　容
主な事業	●大津市歴史博物館から本学歴史学部への委託事業 大津市内古文書の調査・整理

■社会連携センタープロジェクト等

2024年度

主な事業	内　容
防犯啓発・立ち直り支援プロジェクト	●京都府北警察署と連携して、市内の小学校や児童館での交通安全教室、中学校でのサイバー犯罪防止講演活動に取り組んでいる。
鷹峯地域活性化プロジェクト	●鷹峯地域で、川の清掃による環境保全や農業体験などを行う。
大学発進(信)プロジェクト	●RADIO MIX KYOTO FM87.0は、2016年５月に「大学と地域の連携」をテーマとして開局されたコミュニティラジオである。そのラジオを使用し、本学有志学生が「ぶつ☆ラジ！」という番組の放送を実施している。
知ってる？パラスポーツの魅力〜Do You Know the Power of Parasports?〜	●パラスポーツを通して共生社会を考える活動に取り組む。二条キャンパス周辺の公園で地域の方とモルックやボッチャを通した交流や、車いすバスケットボールの体験会などを通してパラスポーツの魅力を広めている。
ホテルとまちの魅力発信プロジェクト	●西松地所株式会社と連携し、ホテルを拠点として「まちと人、人と人を繋ぐ」活動に取り組む。
地域福祉フィールドワーク事業「見守りホットライン」	●「子ども食堂＆フードパントリーまんぷく」に参画し、運営を支えるとともに子どもたちに「第三の居場所」を届ける。
学生消防防災サークル「佛教大学FAST」	●京都府や京都市と連携しながら、地域の防災訓練・防災イベントの参加などを行う。 <防火パトロール> 京都市では毎月5日と20日を「無火災推進日」と制定し、地域の消防団では火災予防の巡回広報を実施している。楽只消防分団の巡回に、佛教大学FASTが参加する。
SDGs（持続可能な開発目標）推進プロジェクト	●佛教大学オリジナルSDGsバッジおよびリーフレットを制作・配布している。 2024年度配布数：350個
学生企画まちづくりプロジェクト	●学生が地域と協働して主体的にまちづくりを企画・推進することを目的に、学生から企画案を募集し、支援する。（上限5万円を補助） ●採択件数：8件

■ボランティア

2024年度

主な事業	内　容
社会連携センター学生ボランティア室	●2012年度より有志の学生と教職員で運営。 ●「大学が学生のボランティア活動を推進する場」として、有志の学生スタッフと教職員でボランティアに関する情報を学生に提供。ボランティアを必要としている方とボランティア活動を希望する学生とをつなぐなど、学生のボランティア活動を推進・支援する。 ●登録団体数：94団体、情報受付数：188件
ボランティア支援金制度	●学生が取り組むボランティア活動に対して支援する。（上限5万円を補助） ●採択件数：3件
義援金等募金活動	●「令和6年能登半島地震」支援フリーマーケット 学内で学生・教職員からの提供品を販売し、その売り上げを全額義援金として日本赤十字社京都府支部に寄付。 ●「2024年台湾東部沖地震」救援金の街頭募金活動 宗教教育センター学生サポーター「カルヤーナ・ミトラ」と共同で四条河原町で募金活動を行い、日本赤十字社京都府支部に寄付。 ●赤い羽根共同募金 四条河原町における街頭募金に参加協力。
災害ボランティア	●「令和6年能登半島地震」被災地でのボランティア活動 被災地域（石川県珠洲市）での物資提供および子ども対象の工作教室を実施。

課外活動

課外活動団体

2025年5月1日現在

学友会機関

代議員会
中央執行委員会
会計監査委員会(休会中)
選挙管理委員会(休会中)

代議員特別委員会

鷹陵祭実行委員会
紫櫻祭実行委員会
アルバム委員会(休会中)

文化会本部所属団体

傳道部
児童教化研究部
書道部
混声合唱団
茶道部
華道部
写真研究会
軽音楽部
アマチュア無線クラブ
ボランティア研究会
学生歴史学研究会
美術部
映画部
フォークソング部
箏曲部
点訳サークル(休部中)
手話サークル「なまけもの」
劇団「紫」
漫画研究会
ユネスコ研究会
ジャズ倶楽部
文芸部
雅楽会
民俗学研究会
お笑いサークル ーSHOWCASEー

体育会本部所属団体

硬式野球部
空手道部
弓道部
バドミントン部
剣道部
柔道部
山岳部(休部中)
ワンダーフォーゲル部
スキー部
太道部
少林寺拳法部
サッカー部
ソフトテニス部
アメリカンフットボール部
バレーボール部
バスケットボール部
ラグビーフットボール部
陸上競技部
卓球部
硬式庭球部
ハンドボール部
ボウリング部
アイススケート部
軟式野球部
ラクロス部

應援團本部所属団体

應援團
吹奏楽部
チアリーダー部

報道本部所属団体

新聞局
放送局

無所属公認団体(文化系)

京都散策会「Smile」
Music Freedom Crea
わんぱくグループ「どろんこ」
レクリエーション研究会
スポーツ研究会「Mint Club」
BBS会
よさこいサークル 紫踊屋
シンガーソングライター
クリエイターサークル　青春部
競技かるた部
教職サークルMIYABI
企業サークルJobhunt
心理学研究会 モモの会

無所属公認団体(体育系)

ソフトボール愛好会
水泳愛好会「スイート・メモリーズ」(休部中)
バレーボール愛好会 鷹陵倶楽部
テニスサークル SPLASH
バドミントン愛好会
バスケ同好会 BREAK THROUGH
軟式野球同好会 WILD BOYS
ソフトテニスサークル ピーター
ラグビー同好会 GUARDIANS
プロレス・格闘技研究会
ベタング同好会"Honens"
Dance Company 釈迦力
Ultimate会
ダブルダッチサークル 佛跳
スポーツチャンバラサークル
フットサルサークルーfreiheitー
スキューバダイビングサークルDive In Blue
筋トレサークルBARBELL CLUB

課外活動表彰

2024年度

賞名	団体名	部門等	氏名	内容	成績
課外活動奨励賞（個人）	空手道部	男子・個人組手	平森　大翔	第68回全日本学生空手道選手権大会	全国大会出場
		男子・個人組手		2024シニア強化選手選考会	全国大会出場
		男子・団体組手		第61回西日本大学空手道選手権大会	優秀選手として表彰
	空手道部	男子組手	松浦拳之介	内閣総理大臣杯　第52回全日本空手道選手権大会	全国大会出場
	空手道部	成年女子・個人組手　女子・団体組手	安藤世理菜	SAGA国民スポーツ大会2024	全国大会出場
	空手道部	女子・個人組手	塚本　未菜	第68回全日本学生空手道選手権大会	全国大会出場
	剣道部	男子・個人	小笹　友也	第72回全日本学生剣道選手権大会	全国大会出場
	剣道部	男子・個人	若林　亮汰	第72回全日本学生剣道選手権大会	全国大会出場
	剣道部	女子・個人	村上　鈴奈	第52回全日本女子学生剣道選手権大会	全国大会出場
	弓道部	女子・遠的	野村　美優	第55回全日本弓道遠的選手権大会	全国大会出場（準優勝）
	少林寺拳法部	一般女子　三段以上の部	森川　千夏	2024年少林寺拳法全国大会inふじのくに	全国大会出場
	少林寺拳法部	男子　単独演武　有段の部	帽子　新	第62回少林寺拳法関西学生大会	4位入賞
	卓球部	男子・団体	清水　快音	令和6年度関西学生卓球秋季リーグ戦	2部リーグ敢闘賞
	卓球部	成年女子	遠山　雅	第78回国民スポーツ大会	全国大会出場
		女子の部		2024年全日本卓球選手権大会	全国大会出場
	卓球部	女子・シングルス	芝田　有里	第90回全日本大学総合卓球選手権大会	全国大会出場
		女子・シングルス　一般・ジュニアの部		天皇杯・皇后杯2025年全日本卓球選手権大会	全国大会出場
	卓球部	成年女子	松本　悠良	第78回国民スポーツ大会	全国大会出場
	ボウリング部	男子リーグ	小林　賢弥	第63回関西学生春季リーグ戦	ハイゲーム賞(300点・パーフェクト)
	ボウリング部	成年男子の部	藤原　輝紀	第57回全日本新人ボウリング選手権大会	7位入賞
		男子・個人		第61回関西学生新人ボウリング選手権大会	優勝
	ボウリング部	女子・個人	池田　葵	第61回関西学生新人ボウリング選手権大会	3位入賞
	スポーツチャンバラサークル	男子・個人　二刀・1～10級の部	山田　颯眞	第48回スポーツチャンバラ世界選手権大会	3位入賞
課外活動奨励賞（団体）	空手道部	男子・団体組手	-	第61回西日本大学空手道選手権大会	ベスト4
		男子・団体組手		第68回全日本大学空手道選手権大会	全国大会出場
		女子・団体組手		第68回全日本大学空手道選手権大会	全国大会出場
	剣道部	男子・団体	-	第72回全日本学生剣道優勝大会	全国大会出場（ベスト32）
		女子・団体		第69回全日本仏教系大学剣道大会	準優勝
	弓道部	男子・団体	-	令和6年度関西学生弓道リーグ戦	3部リーグ優勝（2部昇格）
		女子・団体		令和6年度関西学生弓道リーグ戦	3部リーグ優勝（2部昇格）
	バレーボール部	男子・団体	-	関西大学バレーボール連盟2024年秋季リーグ戦	3部リーグ優勝（2部昇格）
		女子・団体		関西大学バレーボール連盟2024年秋季リーグ戦	3部リーグ優勝（2部昇格）
	卓球部	女子・団体	-	令和6年度関西学生卓球秋季リーグ戦	2部リーグ2位（1部昇格）
	ボウリング部	男子・団体	-	第63回関西学生リーグ戦	春季：2位入賞、秋季：3位入賞
		女子・団体		第63回関西学生リーグ戦	春季・秋季：3位入賞
	ソフトテニス部	男子・団体	-	令和6年度関西学生ソフトテニス春季リーグ戦	5部リーグ優勝（4部昇格）
	軟式野球部	男子・団体	-	第4回大学軟式野球選抜大会	全国大会出場
	應援團本部	団体	-	（硬式野球部）第73回全日本大学野球選手権大会・第55回記念明治神宮野球大会（大学の部）の応援活動	
個人活動奨励賞	-	ボランティア	上田　京	独立行政法人国立青少年教育振興機構のボランティアとして、国立乗鞍青少年交流の家にて、子どもを対象とした自然体験活動・宿泊活動の企画・立案、運営に携わる。	
	-	ボランティア	北尾早都季		
	-	ボランティア	羽田　恵祐	独立行政法人国立青少年教育振興機構のボランティアとして、国立若狭湾青少年交流の家にて、子どもを対象とした自然体験活動・宿泊活動の企画・立案、運営に携わる。	
同窓会課外活動奨励賞（団体）　※推薦	硬式野球部	第73回全日本大学野球選手権大会	-		ベスト16
		第22回関西地区大学野球選手権大会			準優勝
		第55回記念　明治神宮野球大会（大学の部）			全国大会出場（1回戦敗退）
教育後援会課外活動奨励賞（個人）　※推薦	卓球部	男子・シングルス	藤木　直大	第63回近畿卓球選手権大会	ベスト16
	バレーボール部	男子・団体	河谷亜翔夢	令和6年度関西バレーボール大会春季・秋季リーグ戦	(3部リーグ) サーブレシーブ賞・レシーブ賞

強化指定スポーツ 主な活動成績

2024年度

◆硬式野球部

- 2024年度京滋大学野球連盟　春季リーグ　優勝（10勝1敗）
- 第73回全日本大学野球選手権大会 出場
- 2024年度京滋大学野球連盟　秋季リーグ　優勝（10勝3敗）
- 第22回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会　準優勝
- 第55回明治神宮野球大会出場（ベスト16）

◆陸上競技部　女子中長距離部門

- 第34回関西学生対校女子駅伝競走大会　総合7位（1時間55分22秒）

奨学金

2024年度

佛教大学独自・関係外郭団体等の給付型奨学金制度

名称	種別	給付額（年額）	支援団体区分	採用者数（2024年度）
佛教大学奨学金	推薦制	300,000円	佛教大学	17名
佛教大学大学院奨学金		半期学費相当額		23名
佛教大学障がい学生奨学金		300,000円		3名
入学試験成績優秀者奨学金		半期学費相当額		1名
浄土宗総本山知恩院奨学金		50,000円	関係外郭団体	5名
浄土宗大本山奨学金（黒谷金戒光明寺）		100,000円		2名
浄土宗大本山奨学金（清浄華院）				2名
浄土宗大本山奨学金（百万遍知恩寺）				2名
浄土宗宗立宗門校奨学金		100,000円		5名
学究者育成奨学金		300,000円		4名
特定分野研究助成金（雲井・渡辺奨学金）		500,000円	佛教大学	3名
佛教大学大学院通信教育課程奨学金		210,000円		7名
		（臨床心理学専攻のみ）315,000円		2名
佛教大学育英奨学金	公募制	300,000円	佛教大学	18名
佛教大学課外活動奨学金		300,000円		2名
佛教大学教育後援会育英奨学金1種		100,000円	関係外郭団体	28名
佛教大学教育後援会育英奨学金2種		200,000円		20名
佛教大学同窓会奨学金		100,000円		20名
佛教大学教職員互助会奨学金		通学課程 半期授業料相当額		7名
		通信教育課程　145,000円		2名
浄土宗寺院子弟奨学金		50,000円～150,000円		5名
浄土宗課外活動助成金		20,000円～300,000円		10名
佛教大学通信教育課程奨学金		70,000円	佛教大学	39名
佛教大学生外国留学奨学金	学部・大学院 240,000円		佛教大学	学　部 3名 大学院 0名
佛教大学外国人留学生特別奨学金	学部・大学院 576,000円			学　部 4名 大学院 3名
佛教大学外国人留学生新入生特別奨学金	学部・大学院 288,000円			学　部 3名 大学院 3名
佛教大学私費外国人留学生奨学一時金	学部・大学院 200,000円			学　部 2名 大学院 3名

佛教大学奨学金……学業成績が非常に優秀な学生に授与。2年生以上の学生が対象。
入学試験成績優秀者奨学金……一般選抜（A日程）において総合得点率が80%以上の合格者で、各学部合格者の上位3%以内の入学者が対象。学年進級時に成績基準を満たせば最長4年間の給付が可能。
学究者育成奨学金……浄土宗教師資格取得者で、浄土学・仏教学・仏教文化を研究する学生が対象。
佛教大学育英奨学金……経済的支援を必要としながら、授業に積極的に取り組んで優秀な成績を修めている2年生以上の学生が対象。
佛教大学課外活動奨学金……文化活動やスポーツ活動において国際的または全国的なレベルで活躍した者、他の学生の模範になる社会的貢献や社会奉仕活動を行い、佛教大学の栄誉を高めた者が対象。
佛教大学教育後援会育英奨学金……学生たちの保護者会である教育後援会が経済的支援を目的として設けている奨学金制度。
佛教大学同窓会奨学金……同窓会が設けた奨学金制度。経済的理由により学業の継続が困難な学生が対象。
佛教大学生外国留学奨学金……短期交換留学・派遣留学に選抜された者が対象。
佛教大学外国人留学生特別奨学金…学業成績が優秀な私費留学生で、本奨学金を超える他の奨学金を受給していない者が対象（当該年度の新入生および編入生は除く）。
佛教大学外国人留学生新入生特別奨学金…当該年度の新入生（編入生含む）であり、学業成績が優秀な私費留学生で、他の奨学金を受給していない者が対象。支給期間は採用年度10月～3月（6ヶ月）。
佛教大学私費外国人留学生奨学一時金…学業成績が優秀な私費留学生が対象（当該年度の新入生および編入生は除く）。

家計急変に対応する奨学金等

名称	種別	給付額（年額）	支援団体区分	採用者数（2024年度）
佛教大学緊急奨学金	公募制	通学課程　半期授業料相当額	佛教大学	15名
		通信教育課程　年間授業料1/2相当額		0名
被災者に対する奨学金		通学課程　最大半期授業料相当額		1名
		通信教育課程　最大全期授業料相当額		0名

佛教大学緊急奨学金…家計状況の急変のために学費支弁に不測の事態が生じ、経済的に著しく修学困難な在学生（学部・大学院・別科）に対する給付型の緊急奨学金。
被災者に対する奨学金…災害救助法が適用される規模の災害により、経済的理由から修学が著しく困難になった在学生に対する給付型の緊急奨学金。「非常災害」によって家計が急変してから12ヶ月以内で、被害状況に応じた額を給付する。

「高等教育の修学支援制度」による授業料減免

通学課程は834名、通信教育課程は36名に減免を実施。

日本学生支援機構（JASSO）の奨学金制度

通学課程

名称			種別		貸与額（月額／選択）	採用者数
日本学生支援機構奨学金	学部	第一種奨学金	無利子／貸与	自宅通学者	20,000円／30,000円／40,000円／54,000円	989名
			無利子／貸与	自宅外通学者	20,000円／30,000円／40,000円／50,000円／64,000円	276名
		第二種奨学金	有利子／貸与		20,000円～120,000円（10,000円単位で選択）	1,545名
		給付奨学金	給付／第Ⅰ区分	自宅通学者	38,300円（生活保護を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人：42,500円）	901名
				自宅外通学者	75,800円	
			給付／第Ⅱ区分	自宅通学者	25,600円（生活保護を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人：28,400円）	
				自宅外通学者	50,600円	
			給付／第Ⅲ区分	自宅通学者	12,800円（生活保護を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人：14,200円）	
				自宅外通学者	25,300円	
	大学院	第一種奨学金	修士	無利子／貸与	50,000円／88,000円	14名
			博士後期	無利子／貸与	80,000円／122,000円	
		第二種奨学金	有利子／貸与		50,000円／80,000円／100,000円／130,000円／150,000円	3名

通信教育課程

名称			種別	貸与額（選択）	採用者数
日本学生支援機構奨学金	学部（本科）	第一種奨学金※	無利子／貸与	88,000円	9名
		第二種奨学金※	有利子／貸与	20,000円から120,000円の範囲で10,000円単位で選択可	9名
		給付奨学金	第Ⅰ区分 51,000円／第Ⅱ区分 34,000円／第Ⅲ区分 17,000円／第Ⅳ区分（多子） 12,800円		42名

※面接授業を受講する年度について一回

学費

2025年度

通学課程

学部

（単位：円）

学部・別科		入学金※	学費			諸費			合　計	
			授業料		設備費	教育後援会費※	学友会入会金※	学友会費	新入生	在学生
			新入生	在学生					年間必要額	年間必要額
2020年度以降入学生適用	仏教学部 文学部 歴史学部 社会学部 社会福祉学部	200,000	(1期) 435,000 (2期) 435,000	(1期) 455,000 (2期) 455,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	20,000	1,000	4,500	1,295,500	1,114,500
	教育学部	200,000	(1期) 460,000 (2期) 460,000	(1期) 480,000 (2期) 480,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	20,000	1,000	4,500	1,345,500	1,164,500
	保健医療技術学部	200,000	(1期) 675,000 (2期) 675,000	(1期) 695,000 (2期) 695,000	(1期) 200,000 (2期) 200,000	20,000	1,000	4,500	1,975,500	1,794,500
	別科（仏教専修）	60,000	(1期) 174,000 (2期) 174,000	(1期) 174,000 (2期) 174,000	(1期) 52,500 (2期) 52,500	5,000	-	-	518,000	453,000
2019年度以前入学生適用	仏教学部 文学部 歴史学部 社会学部 社会福祉学部	-	-	(1期) 450,000 (2期) 450,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	-	-	4,500	-	1,104,500
	教育学部	-	-	(1期) 475,000 (2期) 475,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	-	-	4,500	-	1,154,500
	保健医療技術学部	-	-	(1期) 690,000 (2期) 690,000	(1期) 200,000 (2期) 200,000	-	-	4,500	-	1,784,500
	別科（仏教専修）	-	-	(1期) 174,000 (2期) 174,000	(1期) 52,500 (2期) 52,500	-	-	-	-	453,000

※印は入学初年度のみ

大学院

（単位：円）

大学院（修士・博士共通）		入学金※	学費		合　計	
					新入生	在学生
			授業料	設備費	年間必要額	年間必要額
2020年度以降入学生適用	文学研究科 教育学研究科 （生涯教育専攻） 社会学研究科 社会福祉学研究科	200,000	(1期) 262,500 (2期) 262,500	(1期) 50,000 (2期) 50,000	825,000	625,000
	教育学研究科 （臨床心理学専攻）	200,000	(1期) 360,000 (2期) 360,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	1,120,000	920,000
2015年度～2019年度入学生適用	文学研究科 教育学研究科 （生涯教育専攻） 社会学研究科 社会福祉学研究科	-	(1期) 262,500 (2期) 262,500	(1期) 50,000 (2期) 50,000	-	625,000
	教育学研究科 （臨床心理学専攻）	-	(1期) 360,000 (2期) 360,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	-	920,000
2014年度以前入学生適用	文学研究科 教育学研究科 （生涯教育専攻） 社会学研究科 社会福祉学研究科	-	(1期) 264,000 (2期) 264,000	(1期) 50,000 (2期) 50,000	-	628,000
	教育学研究科 （臨床心理学専攻）	-	(1期) 365,000 (2期) 365,000	(1期) 100,000 (2期) 100,000	-	930,000

※印は入学初年度のみ

通信教育課程

学部

（単位：円）

区分		入学諸経費	学費（含学友会費）※	合計	
				新入生	在学生
学部（本科）	1年生	30,500	152,500	183,000	–
	2〜4年生	55,500		208,000	152,500

※学費にスクーリング経費を含まない

大学院

（単位：円）

区分		入学諸経費	学費（含学友会費）※	合計	
				新入生	在学生
修士課程	（臨床心理学専攻以外）	53,500	426,500	480,000	426,500
	（臨床心理学専攻）		636,500	690,000	636,500
博士後期課程			426,500	480,000	426,500

※学費にスクーリング経費を含む

次年度の学費については、毎年秋に決定します。

財務状況

2024年度

2024年度 佛教大学・佛教大学附属こども園 計算書総括表

資金収支計算書 （2024年4月1日から2025年3月31日まで）

当該会計年度の諸活動すべての収入および支出のてん末を明らかにするためのものです。 （単位：円）

収入の部	
科目	決算
学生生徒等納付金収入	8,843,224,897
手数料収入	366,015,696
寄付金収入	125,364,385
補助金収入	1,511,995,740
付随事業・収益事業収入	66,033,426
受取利息・配当金収入	9,722,383
雑収入	221,182,905
借入金等収入	1,000,000,000
前受金収入	1,692,215,000
その他の収入	1,188,568,107
資金収入調整勘定	△1,936,504,080
前年度繰越支払資金	3,676,436,127
収入の部合計	16,764,254,586

支出の部	
科目	決算
人件費支出	5,967,750,703
教育研究経費支出	3,181,824,536
管理経費支出	783,427,685
借入金等利息支出	21,208,145
借入金等返済支出	370,710,000
施設関係支出	1,191,282,682
設備関係支出	740,176,565
資産運用支出	700,000,000
その他の支出	617,575,266
資金支出調整勘定	△322,402,613
翌年度繰越支払資金	3,512,701,617
支出の部合計	16,764,254,586

活動区分資金収支計算書 （2024年4月1日から2025年3月31日まで）

資金収支を教育活動・施設整備等活動・その他の活動の3つの区分に分けて、資金の流れを表すためのものです。 （単位：円）

		科目	決算
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	8,843,224,897
		手数料収入	366,015,696
		寄付金収入	115,543,137
		経常費等補助金収入	1,493,517,740
		付随事業収入	66,033,426
		雑収入	221,063,861
		教育活動資金収入計	11,105,398,757
	支出	人件費支出	5,967,750,703
		教育研究経費支出	3,181,824,536
		管理経費支出	780,822,969
		教育活動資金支出計	9,930,398,208
		差引	1,175,000,549
		調整勘定等	△ 69,467,880
	教育活動資金収支差額		1,105,532,669
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	9,821,248
		施設設備補助金収入	18,478,000
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	600,000,000
		施設整備等活動資金収入計	628,299,248
	支出	施設関係支出	1,191,282,682
		設備関係支出	740,176,565
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	600,000,000
		施設整備等活動資金支出計	2,531,459,247
		差引	△ 1,903,159,999
		調整勘定等	80,876,475
	施設整備等活動資金収支差額		△ 1,822,283,524
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）			△ 716,750,855

		科目	決算
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	1,000,000,000
		退職給与引当特定資産取崩収入	130,000,000
		学術振興基金引当特定資産取崩収入	3,818,788
		奨学費支出引当特定資産取崩収入	26,770,200
		貸付金回収収入	200,000
		仮払金回収収入	3,400,000
		その他流動資産回収収入	△ 78,275,540
		預り金受入収入	283,971,860
		小計	1,369,885,308
		受取利息・配当金収入	9,722,383
		過年度修正収入	119,044
		その他の活動資金収入計	1,379,726,735
	支出	借入金等返済支出	370,710,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	100,000,000
		貸付金支払支出	200,000
		預り金支払支出	331,969,529
		敷金支払支出	18,000
		小計	802,897,529
		借入金等利息支出	21,208,145
		過年度修正支出	1,972,450
		その他の活動による資金支払支出	632,266
		その他の活動資金支出計	826,710,390
		差引	553,016,345
		調整勘定等	0
	その他の活動資金収支差額		553,016,345
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			△ 163,734,510
前年度繰越支払資金			3,676,436,127
翌年度繰越支払資金			3,512,701,617

【施設・整備関係支出における主な事業】
鷹陵館2階トイレ・更衣室等改修工事、各教室照明LEDリニューアル工事。
フューチャークラスルーム改修工事、各教室AV設備改修工事。
保健医療技術学部教育研究機器備品取得。B-netシステム（通学課程）バージョンアップ。
附属こども園ジャングラミング用人工芝施工。

事業活動収支計算書　（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

当該会計年度の諸活動すべての事業活動収入および事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。　（単位：円）

		科目	決算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	8,843,224,897
		手数料	366,015,696
		寄付金	118,920,535
		経常費等補助金	1,493,517,740
		付随事業収入	66,033,426
		雑収入	245,610,861
		教育活動収入計	11,133,323,155
	事業活動支出の部	人件費	6,029,438,753
		教育研究経費	4,115,493,941
		管理経費	938,016,917
		教育活動支出計	11,082,949,611
	教育活動収支差額		50,373,544
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	9,722,383
		教育活動外収入計	9,722,383
	事業活動支出の部	借入金等利息	21,208,145
		その他の教育活動外支出	632,266
		教育活動外支出計	21,840,411
	教育活動外収支差額		△ 12,118,028
経常収支差額			38,255,516

		科目	決算
特別収支	事業活動収入の部	その他の特別収入	37,838,577
		特別収入計	37,838,577
	事業活動支出の部	資産処分差額	106,720,130
		その他の特別支出	219,231,190
		特別支出計	325,951,320
	特別収支差額		△ 288,112,743
基本金組入前当年度収支差額			△ 249,857,227
基本金組入額合計			△ 1,587,407,338
当年度収支差額			△ 1,837,264,565
前年度繰越収支差額			△ 13,137,662,918
翌年度繰越収支差額			△ 14,974,927,483
（参考）			
事業活動収入計			11,180,884,115
事業活動支出計			11,430,741,342

【教育活動収支の部】
＜部門比率＞
・学生生徒等納付金に占める各部門の割合は、通学課程86.2%　通信教育課程13.5%　こども園0.3%。
・手数料に占める各部門の割合は、通学課程66.9%　通信教育課程32.6%　こども園0.5%。
＜構成比率＞
・学生生徒等納付金が経常収入に占める割合は79.4%(昨年度は80.1%)。
・人件費が経常収入に占める割合は54.1%(昨年度は53.0%)。
・教育研究経費が経常収入に占める割合は36.9%(昨年度は36.2%)。
※経常収入＝教育活動収入+教育活動外収入
＜その他＞
・寄付金は、佛教大学未来支援寄付金の奨学金と課外活動寄付金、企業等からの受配者指定寄付金および教育後援会、同窓会、浄土宗からの寄付金。
・経常費等補助金は、国・地方公共団体等の交付金。

【特別収支の部】
<その他の特別収入>
・施設設備寄付金9,821,248円。佛教大学未来支援寄付金の施設設備寄付金および教育後援会からの寄付金。
・施設設備補助金18,478,000円。私立学校施設整備費補助金（教室LED工事）等
・基本金組入額は、教育施設拡充引当特定資産の組入のほか、施設設備、教育研究用機器備品、図書等の購入を含む。

学校法人佛教教育学園 貸借対照表　（2025年3月31日）

当該年度末の資産、負債、正味財産の状態を表すものです。　（単位：円）

資産の部	
科目	本年度末
固定資産	114,134,169,927
有形固定資産	82,367,258,588
土地	44,350,012,146
建物・構築物	28,496,492,519
教育研究用機器備品	1,549,502,454
管理用機器備品	183,601,947
図書	6,276,238,349
その他	1,511,411,173
特定資産	30,167,898,314
第２号基本金引当特定資産	7,443,900,000
第３号基本金引当特定資産	285,920,000
第４号基本金引当特定資産	1,152,000,000
その他	21,286,078,314
その他の固定資産	1,599,013,025
流動資産	10,884,412,004
現金預金	10,512,214,453
その他	372,197,551
資産の部合計	125,018,581,931

負債の部	
科目	本年度末
固定負債	9,833,821,384
長期借入金	3,559,040,000
退職給与引当金	5,791,529,824
長期未払金	483,251,560
流動負債	3,550,965,971
短期借入金	612,928,000
未払金	442,445,811
前受金	2,119,695,087
預り金	375,897,073
負債の部合計	13,384,787,355
純資産の部	
科目	本年度末
基本金	125,957,685,396
第１号基本金	117,075,865,396
第２号基本金	7,443,900,000
第３号基本金	285,920,000
第４号基本金	1,152,000,000
繰越収支差額	△14,323,890,820
純資産の部合計	111,633,794,576
負債及び純資産の部合計	125,018,581,931

図書館

蔵書数

2025年5月1日現在

図書	
内国書	902,831冊
外国書	236,858冊
計	1,139,689冊

雑誌	
内国書	9,628種
外国書	3,525種
計	13,153種

年間入館者数

2024年度

学部生	大学院生	通信学生	教職員	卒業生	その他	合計
110,408 人	3,133 人	4,307 人	6,607 人	1,318 人	4,789 人	130,562 人

図書館企画展（図書館１階中央展示ケース）

2024年度

展示月	月例展示名	展示内容
2024年4月～ 5月	桜まつり（前期・後期）	浮世絵や各所図会等に描かれた花見の様子を紹介。前期では京都の東側の名所を、後期では西側の名所を紹介。 【展示資料】 『花洛細見圖』『都名所圖會』『拾遺都名所圖會』『再撰花洛名勝圖會：東山之部 』『都名所百景』
2024年6月～ 7月	祇園祭（前期・後期）	単色木版和本や多色刷りの一枚ものなど、多種多様な形態の祇園祭絵図を展示。現代との比較が楽しい山鉾図はもちろん、祭礼の様々な行事や場面を描いたものも紹介。 【展示資料】 『花洛細見圖』『祇園會御祭禮記：六月七日十四日山鉾之由来』『祇園會山鉾祭禮圖』『六月七日十四日祇園會山鉾之由来 』『［名所・縁起・幕末関連・大火摺物他貼交］』『都名所百景』 等
2024年8月～9月	納涼　水のある風景 （前期・後期）	錦絵『都名所百景』シリーズのなかから “水のある風景” を展示。前期は「鴨川と三つの大橋」をテーマに、江戸時代末の都とその周辺の様子を紹介。後期は「水辺で眺める」をテーマに、かつては見ることができた…かもしれない不思議な光景も紹介。 【展示資料】 『都名所圖會』『加茂河筋』『再撰花洛名勝圖會：東山之部 』『都名所百景』『都林泉名勝圖會』『淀川両岸一覧』
2024年10月～ 12月	絵伝（前期・後期）	法然上人の生涯を絵と言葉で描いた「絵伝」を特集。前期では未軸装の絵解摺物や版本を、後期では型絵染で知られる芹沢銈介の版画作品『法然上人絵伝』を展示。 【展示資料】 『法然上人行状畫圖』『［法然上人御画傳］』『法然上人行状略傳』『御画傳略賛』『法然上人繪傳』
2025年1月～ 3月	姫君のものがたり	紫式部が著した『源氏物語』や當麻曼荼羅成立を綴った仏教説話『中将姫』など、様々な姫君が登場する作品を紹介。色とりどりの手書き彩色の奈良絵本に、物語の世界観を表現する挿絵が楽しい版本などを展示。 【展示資料】 『いはや』『中将ひめ』『［源氏物語］』
2025年3月～ 5月	ポケット旅図鑑	庶民にとって旅が身近なものとなった江戸時代、旅の広がりとともに刊行された数多くの書物の中から、特に持ち運びを前提に作られた袖珍本を紹介。京都を訪れる旅人向けの案内書や、全国を巡る旅人のための実用的な宿泊ガイドなどを展示。 【展示資料】 『懐寶京繪圖』『早引浪花講定宿圖會』『華洛名所記：慶應再刻』『京都名所方角：道法略記』

＜常設展示貸出＞（紫野キャンパス図書館１階入り口展示貸出コーナー）

・語学学習、就職活動、学習方法等の電子ブック
・教員採用試験過去問シリーズ（教育後援会支援金）

法然仏教学研究センター

講演会

2024年度

開催日	開催場所	講師	講題	来場者数
2024年7月6日（土）	常照ホール （紫野キャンパス成徳常照館5階）	吉原　浩人 （早稲田大学文学学術院教授）	『選択集』の文章構造 －法然はどのように表現したかったのか－	96名

シンポジウム　佛教大学法然仏教学研究センター開設10周年記念シンポジウム「佛教大学法然仏教学研究センターの過去・現在・未来」

開催日	開催場所	基調報告	報告者	鼎談	登壇者	来場者数
2024年11月17日（日）	宗教文化ミュージアム 宗教文化シアター	法然仏教学研究センターの10年を振り返って	曽和　義宏 （法然仏教学研究センター長）	佛教大学法然仏教学研究センターの過去・現在・未来	釈　徹宗（相愛大学学長） 本庄 良文（前法然仏教学研究センター長） 曽和 義宏（法然仏教学研究センター長）	100名

宗教文化ミュージアム

ミュージアム資料

2025年5月1日現在

美術工芸品	法然上人像（三日月御影）	1点
	五趣生死輪図（タンカ）	1点
	山越阿弥陀図（複製）	1点
	乾県章懐太子墓壁画（複製）	3点
	ダンダンウィリク遺跡出土 如来像壁画（模写）	1点
	兵馬俑（複製）	2点
	女子俑（複製）	1点
	その他	5点
考古資料	岸ヶ前古墳出土品	
	衝角付兜及び短甲	1点
	鉄剣及び鉄刀	9点
	碧玉製勾玉	6点
	その他	36点
	壺ノ谷遺跡出土品	
	須恵器類	46点
	その他	5点
大学史資料	法然上人立像（頭光踏蓮の御影）	1点
	小林瑞浄胸像（雛形）	1点
	竹田聴洲資料	
	恵谷隆戒資料	
	森鹿三資料	
	高畠寛我資料	
	矢吹慶輝資料	
	西田直二郎旧蔵資料	
	その他	
古書・歴史資料	樺皮墨書サンスクリット長阿含経	3点
	念持仏（弘法大師、その他）	3点
	その他	1,073点
民俗・民族資料	前川家民俗資料	55点
	社寺護符類資料	441点
	その他	128点

刊行物

2024年度

紀要	1点
特別展図録	1点
シアター公演パンフレット	1点

年間入館者数

2024年度

開館日数	入館者数
202 日	951 人

年間企画

展示

2024年度

期間	企画名
2024年4月1日（月）～ 7月31日（水）	平常展示「祈りと祀り、そして地域へ」
2024年8月2日（金）～ 8月23日（金）	平常展示「祈りと祀り、そして地域へ」
2024年9月2日（月）～ 9月30日（月）	平常展示「祈りと祀り、そして地域へ」
2024年10月26日（土）～ 12月7日（土）	特別展「法然マニアな人々 ―佛教大学法然仏教学研究センターの10年―」
2024年10月26日（土）～ 2025年3月28日（金）	京都府立北嵯峨高等学校生物部26年の歩み展
2025年1月14日（火）～ 3月28日（金）	平常展示「祈りと祀り、そして地域へ」

シアター公演

2024年度

開催日	企画名
2025年1月26日（日）	第49回シアター公演「京都の愛宕さん ～かかわる、つながる、したしむ文化遺産～」

講演会／シンポジウム

2024年度

開催日	企画名
2024年11月17日（日）	佛教大学法然仏教学研究センター開設10周年記念シンポジウム 「佛教大学法然仏教学研究センターの過去・現在・未来」

他館との連携・地域貢献活動

2024 年度

名称	内容
京都・大学ミュージアム連携	スタンプラリーへの参加、共同展開催、連携パンフレット作成等のPR活動、 スタッフ研修会や情報交換等の交流
京都市内博物館連絡協議会	第28回京都ミュージアムロード参加
令和6年度京都・右京区域文化遺産総合活用推進事業への協力	「京の民俗芸能を担う人々」フェスティバルへの運営協力、 市内巡回パネル展「京の民俗芸能を担う人々」の開催協力

外部資金

2024年度

科学研究費助成事業（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）

研究代表者

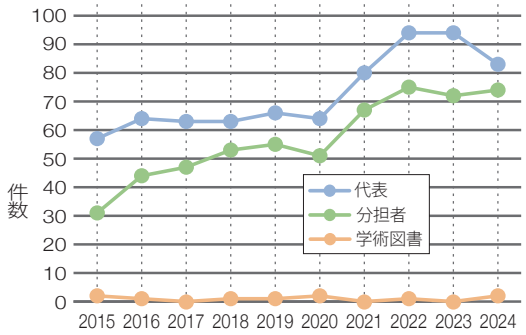
事業	種目	件数	直接経費(円)	間接経費(円)	合計金額(円)
補助金	基盤研究(B) ※繰越	2	0	0	0
基金	基盤研究(B)	5	17,800,000	5,340,000	23,140,000
	基盤研究(C)	61	27,100,000	8,130,000	35,230,000
	若手研究	14	9,800,000	2,940,000	12,740,000
	研究活動スタート支援	1	300,000	90,000	390,000
合計		83	55,000,000	16,500,000	71,500,000

金額は、他大学への分担金を含む交付決定額（前倒し支払請求額を含む）を計上。預金口座の利息は含まない。

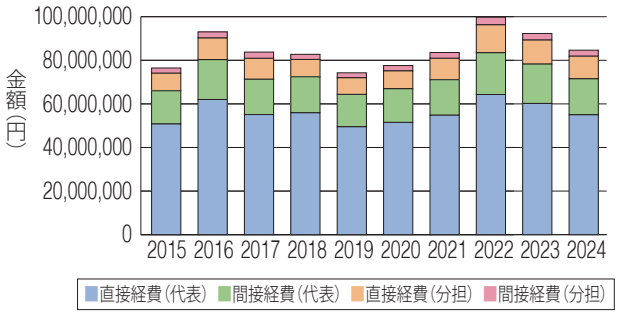
研究分担者(他大学等の研究代表者を通じての交付)

事業	種目	件数	直接経費(円)	間接経費(円)	合計金額(円)
補助金	基盤研究(A)	8	1,800,000	540,000	2,340,000
	基盤研究(B) ※繰越	5	912,790	15,000	927,790
基金	基盤研究(B)	21	3,205,000	961,500	4,166,500
	基盤研究(C)	38	4,304,000	1,201,200	5,505,200
	挑戦的研究(萌芽)	2	150,000	45,000	195,000
合計		74	10,371,790	2,762,700	13,134,490

科学研究費助成事業内定件数推移（2015～2024年度）



内定額推移（2015～2024年度）



土地・建物面積

2025年5月1日現在

土地の部

■地域別　（単位：㎡）

紫野校地	38,624.46
岩倉校地	53,424.00
広沢校地	19,346.31
原谷校地	6,834.00
園部校地	362,902.35
二条校地	6,466.00
その他校地	9,141.76（内借地 2,665.96）
合計	496,738.88

■用途別　（単位：㎡）

校舎等敷地	18,334.26
運動場敷地	212,531.56
寄宿舎敷地	3,992.11（内借地 2,665.96）
研究所敷地	2,250.80
附属こども園敷地	4,647.68
その他敷地	254,982.47
合計	496,738.88

建物の部

■種別　（単位：㎡）

校舎	81,385.88
（ 1号館）	20,550.54
（ 5号館）	5,146.56
（ 6号館）	4,511.71
（ 7号館）	6,105.50
（ 8号館）	3,562.85
（10号館）	1,712.82
（11号館）	5,188.51
（12号館）	3,422.21
（15号館）	3,807.46
図書館（成徳常照館）	10,451.91
礼拝堂（水谷幸正記念館）	936.43
（二条キャンパス1号館）	15,989.38

体育館(鷹陵館)	8,059.00
鹿渓館	5,612.03
別　館	651.64
宗教文化ミュージアム(広沢)	3,289.77
セミナーハウス「光照」(岩倉)	1,925.95
クラブハウス・セミナーハウス「和順」(園部)	1,440.04
寄宿舎	5,445.43
附属こども園	2,581.56
その他	4,542.59
合計	114,933.89

■用途別　（単位：㎡）

講義室・演習室	14,238.13
実験・実習室	6,669.93
研究室	7,411.83
図書館	10,910.54
体育施設	5,212.38
共用・管理関係	46,066.81
附置機関・研究所	4,211.06
寄宿舎	5,445.43
附属こども園	2,581.56
その他	12,186.22
合計	114,933.89

同窓会

佛教大学同窓会には、佛教専門学校時代の同窓会を引き継いだ通学課程卒業生による「佛教大学同窓会」と通信教育課程卒業生による「佛教大学鷹陵同窓会」の2つの組織があり、それぞれ会則に基づいた事業が行われています。近年は、母校の発展に寄与するべく通学・通信の枠を超えて、事業協力が展開されています。
また、双方ともに全国に支部が配され、地域に根付いた活動も行われています。

■ 佛教大学同窓会

会　長：伊山喜二　　**会員数**：70,987名（2025年5月1日現在 物故者含む）

地域支部

2025年5月1日現在

47支部	北海道	青森	秋田	みちのく	関東	埼玉	千葉	神奈川	新潟	富山
	石川	福井	長野	岐阜	静岡	愛知	伊勢	伊賀	滋賀	京都
	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	出雲	石見	岡山	広島	山口
	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	三州
	沖縄	韓国	ハワイ	台湾	ブラジル	北米	中国			

■ 佛教大学鷹陵同窓会

会　長：河田茂美　　**会員数**：39,408名（2025年5月1日現在 物故者含む）

地域支部

2025年5月1日現在

53支部	北海道北	北海道東	北海道中央	北海道南	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川
	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪
	神戸・兵庫	和田山	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島
	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
	沖縄	台湾	韓国							

■ 同窓会刊行物

2024年度

会　報：『紫野109号』（発行日 2024年7月25日付）　『紫野110号』（発行日 2025年1月1日付）

■ 主な事業

2024年度

記念品の贈呈	同窓会は卒業記念品、卒業10年記念品
	鷹陵同窓会は会費完納者入会記念品
在学生支援	同窓会奨学金（年1回・給付型）、留学生学業支援、学園祭支援、課外活動奨励
ホームカミングデー	2024年11月2日（土）

教育後援会

佛教大学教育後援会は、学部生および別科生の保護者またはそれに代わる者で組織された会で、会則に基づいた事業が行われています。大学と家庭との連絡を緊密にする事業として、本学および各地で教育懇談会を開催。また、大学の教育振興に寄与する事業として、課外活動や学園祭への援助、奨学金など学生生活への支援を中心に展開されています。

■ 佛教大学教育後援会

会　長：勝田良樹

■ 教育後援会刊行物

会　報：『紫峰』入学お祝い号（発行日 2024年4月）
『紫峰132号』（発行日 2024年12月）
『紫峰』卒業・修了お祝い号（発行日 2025年3月）

■ 主な事業

教育懇談会

開催内容　2024年 7月 6日（土）
2024年10月12日（土）
春学期・秋学期とも対面にて開催。

学生教育の振興

- **宗教情操教育援助**
- **文化活動援助**　賛同いただいた寺院の拝観料、美術館・博物館の入場料の全額または一部を補助

場　所	・知恩院〈方丈庭園〉　・清涼寺　・龍安寺〈石庭〉　・願徳寺　・常照寺　・高麗美術館 ・立命館大学　国際平和ミュージアム

※その他：京都秋季非公開文化財特別公開拝観料の補助およびキャンパスメンバーズ入会施設（京都国立博物館・奈良国立博物館）の入館料補助を実施。

- **学生活動援助**
- **就職対策援助**

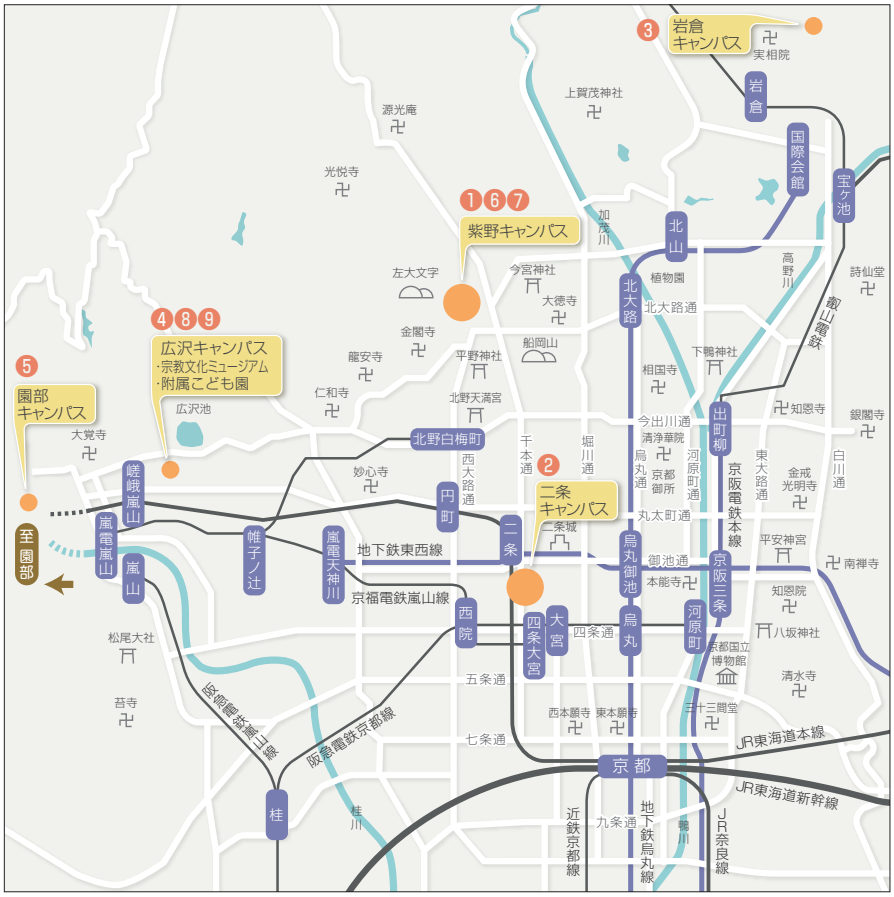
教育後援会奨学金

短期貸付金事業

キャンパス・附置機関マップ

❶紫野キャンパス
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
Tel：075-491-2141（代表・通学課程）
075-491-0239（通信教育課程）

❷二条キャンパス
〒604-8418 京都市中京区西ノ京東栂尾町7
Tel：075-491-2141（代表）・075-366-5660（直通）



❸岩倉キャンパス
（グラウンド・セミナーハウス）
〒606-0017
京都市左京区岩倉上蔵町222

❹広沢キャンパス（グラウンド）
〒616-8306
京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26

❺園部キャンパス
（グラウンド・セミナーハウス）
〒622-0044
京都府南丹市園部町城南町大領1-1

❻オープンラーニングセンター
〒603-8301
京都市北区紫野北花ノ坊町96
佛教大学紫野キャンパス15号館
Tel：075-366-5511

❼臨床心理学研究センター
〒603-8301
京都市北区紫野北花ノ坊町96
佛教大学紫野キャンパス15号館
Tel：075-491-2141（代表）

❽宗教文化ミュージアム
（広沢キャンパス内）
〒616-8306
京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26
Tel：075-873-3115

❾附属こども園（広沢キャンパス内）
〒616-8306
京都市右京区嵯峨広沢西裏町36-1
Tel：075-872-5327

佛教大学 公式 SNS

公式 Facebook
アカウント名：
bukkyo.univ

公式 X
アカウント名：
@bukkyo_univ

公式 Instagram
アカウント名：
bukkyouniversity

https://www.bukkyo-u.ac.jp/

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96　Tel：075-491-2141（代表）
編集・発行：学長室広報課　発行日：2025 年7月 1 日

佛教大学
ありがとうが、あふれる世界を。